

PANDUIT™

EASY-MARK PLUS™

ラベル印字ソフトウェアガイド

B21050

バージョン: 8

日付: 2017年4月25日

テクニカルサポートは、次の番号までお電話ください：

地域	電話番号	メール宛先
アメリカ及びカナダ	1-866-871-4571	GA-TechSupport@panduit.com
ラテンアメリカ	+52-33-3777-6000	TechSupportLatAm@panduit.com
ヨーロッパ	+31-546-580-452	emeatoolservicecenter@panduit.com
アジア太平洋	65-6379-6700	TechSupportAP@panduit.com
日本	03-6863-6060	jpn-toiwase@panduit.com
オーストラリア	613-9794-9020	TechSupportAP@panduit.com

または、次のアドレスにアクセスしてください：www.panduit.com

記載されている情報に誤りがあると思われる場合は、パンドウイットテクニカルサポートまでご連絡ください。

Copyright© 2016 Panduit Corporation. All Rights reserved. この出版のいかなる部分も、Panduit Corporation, (17301 Ridgeland Avenue, Tinley Park, IL 60477-0981) の書面による事前の承諾なしで、いかなる方法でも、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動またはその他の手段を問わず、複製、転送、複写、蓄積システムへの保存、いかなる言語またはコンピュータ言語への翻訳も行うことは許可されません。

制限付権利に関する表示

政府による使用、重複、開示は、DFARS 52.277-7013 の技術的データおよびコンピュータソフトウェアの条項の権利に関するサブパラグラフ ©(1)(ii) で規定される制限に従います。

商標

Easy-Mark Plus は **Panduit Corporation** の登録商標です。Windows™ は Microsoft Corporation の登録商標です。

目次

1.	はじめに.....	5
1.1.	概要.....	5
1.2.	システムの要件及びインストール.....	5
1.3.	用紙情報選択ページ概要.....	11
1.4.	リボンの概要.....	14
1.5.	フォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの作成.....	20
2.	ファイルの操作.....	24
2.1.	新しいファイルの作成.....	24
2.2.	既存のファイルを開く.....	27
2.3.	ファイルの保存.....	28
2.4.	ファイルの印刷.....	28
2.5.	ファイルの保護.....	33
3.	オブジェクトの概要.....	34
3.1.	グラフィカルオブジェクトの挿入.....	34
3.2.	印刷時のプロンプトの作成.....	41
3.3.	日付および時刻の挿入.....	42
3.4.	バーコードの挿入.....	43
3.5.	挿入したオブジェクトの操作.....	45
4.	ラベルの操作.....	48
4.1.	ラベルの編集.....	48
4.2.	ラベルのレイアウトのカスタマイズ.....	49

4.3.	ラベルの表示のカスタマイズ	53
4.4.	連番の作成ツールの使用	55
4.5.	データのインポート	59
4.6.	テンプレートの作成	61
5.	フォントおよびフォーマットの操作	63
5.1.	フォントの操作	63
5.2.	フォーマットの操作	66
6.	ウィザードの操作	68
6.1.	ウィザードの概要	68
6.2.	安全標識ウィザード	69
7.	アプリケーションの設定	73
	トラブルシューティング	75

1.

はじめに

1.1.

概要

Panduit™ Easy-Mark Plus™ ラベル印字ソフトは、ネットワーク、パネルビル、建設およびメンテナンスなどのお客様に特有の用途のために簡単にラベル作成できるように設計された革新的なソフトウェアです。このソフトウェアでは、ラベルが実際にどのように印刷されるかを画面で確認できます。Excel (.xls) ファイル、コマ区切り値 (.csv) ファイルで事前に作成したデータをラベルへインポートすることで、作業時間とエラーを減らすことができます。会社のロゴなどの記号や .jpg、.bmp、.wmf、.gif ファイルをラベルへ挿入することもできます。

Easy-Mark Plus™のインストール方法

Easy-Mark Plus™ラベル印字ソフトは、CDからインストールできます。またポータブルのUSBフラッシュメモリドライブもあります。

Easy-Mark™ラベル印字ソフトをお持ちの方は、ウェブサイトから無料でアップグレードが可能です。

1.2.

システムの要件及びインストール

Easy-Mark Plus™ ラベル印字ソフトをインストールし動作させるには、下記のシステム要件を満たす必要があります。

対応OS : Windows XP/Vista/7/8/8.1/10 x32/x64

メモリ : 2GB

ハードディスクスペース : 300MB

Easy-Mark Plus™ のコンポーネント

Easy-Mark Plus™のアプリケーションは、.NET フレームワーク 4.0 テクノロジーに基づいています。

インストール中、インストーラは以下の操作を実行します：

- .NET Framework4.0 が事前にインストールされていない場合は、インストールします。
- 事前にインストールされていないフォントがある場合、インストールされます。
- CD タイプの場合、Easy-Mark Plus ドキュメントが関連づいています。
- CD タイプの場合、デスクトップにショートカットが生成されます。

Easy-Mark Plus™ ポータブルUSB フラッシュメモリドライブ 前提条件インストール

Easy-Mark Plus™のポータブルバージョンを使用する際は、まず、以下の手順に従い、前提条件のインストールを行ってください。

※注：PC本体にソフトウェアはインストールされません。前提条件をインストール後、Easy-Mark Plus™をご使用の際には、ポータブルUSBフラッシュドライブを接続する必要があります。

1. フラッシュドライブをパソコンの利用可能な USB ポートに挿入します。
2. システムで自動実行機能が有効になっていると、インストールが自動的に開始されます。
3. 自動実行が無効の場合は、フラッシュドライブのフォルダを開き、Launch.exe ファイルをダブルクリックして Easy-Mark Plus™インストーラを起動します。

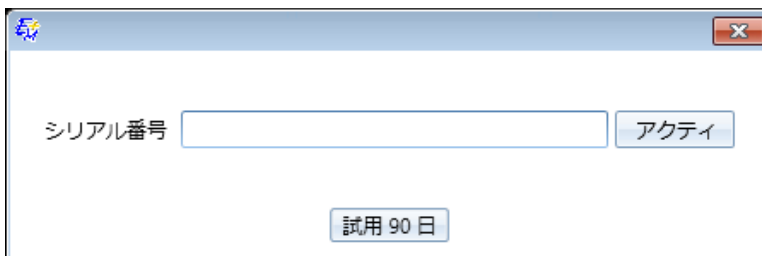
4. 言語画面で、必要な言語をクリックしてアプリケーションを開始します。



5. [ユーザーアカウント制御]ダイアログで、[Yesはい]をクリックします。前提条件がインストールされます。



6. [ライセンス]ウィンドウでシリアル番号を入力し、[アクティ（有効化）]をクリックするか、[試用90日]をクリックします。シリアル番号は、パッケージのラベルに記載されています。



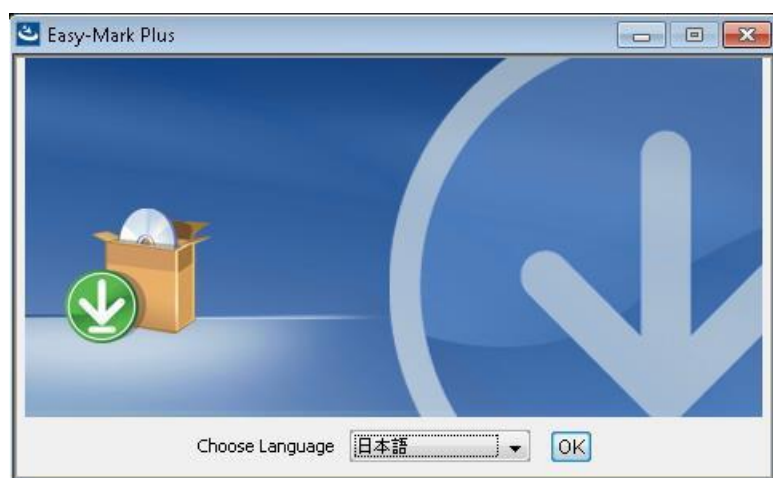
Easy-Mark Plus™ の CDバージョンのインストール

Easy-Mark Plus™を CD からインストールするには、以下の手順を実行します。

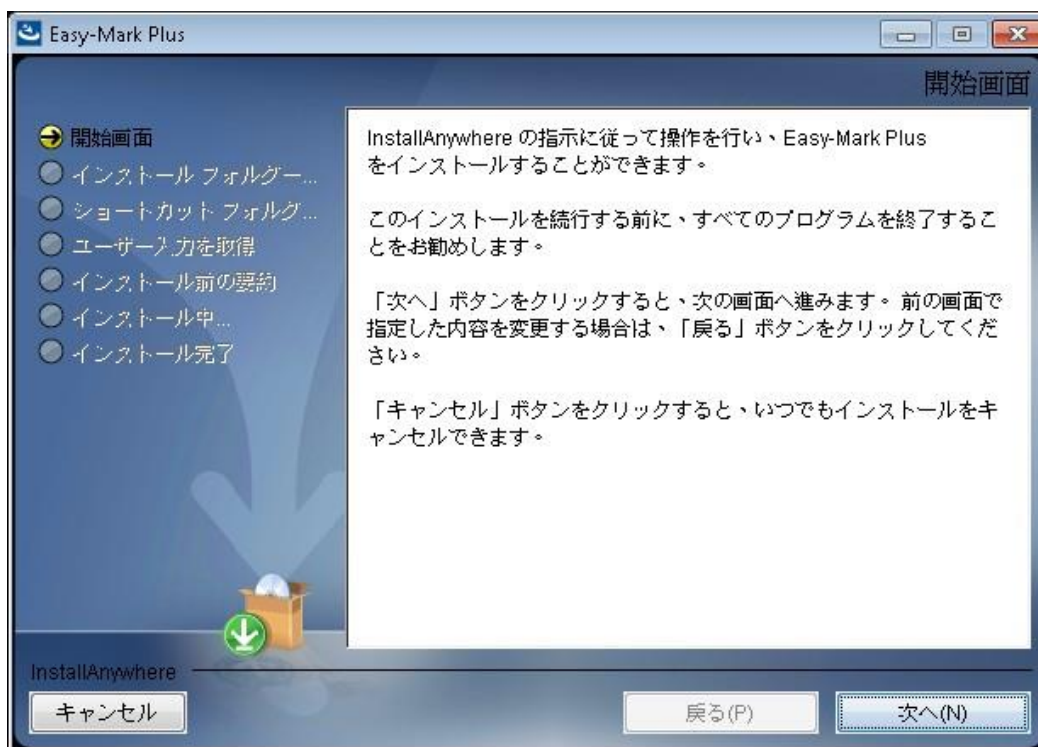
1. CD をディスクドライブに挿入します。
2. システムで自動実行機能が有効になっている場合、インストールは自動的に開始されます。
3. 自動実行が有効になっていない場合は、CD のフォルダを開き、プログラム Launch.exe をダブルクリックして Easy-Mark Plus™インストーラを起動します。

ダウンロードしたファイルから Easy-Mark Plus™をインストールするには、次の手順を実行します。

1. ファイルを保存したフォルダまたは場所を開きます。
2. EasyMarkPlus_setup.exe ファイルをダブルクリックして、Easy-Mark Plus™インストーラを起動します。
3. 言語画面で、必要な言語を選択し、OK をクリックしてセットアップを続行します。



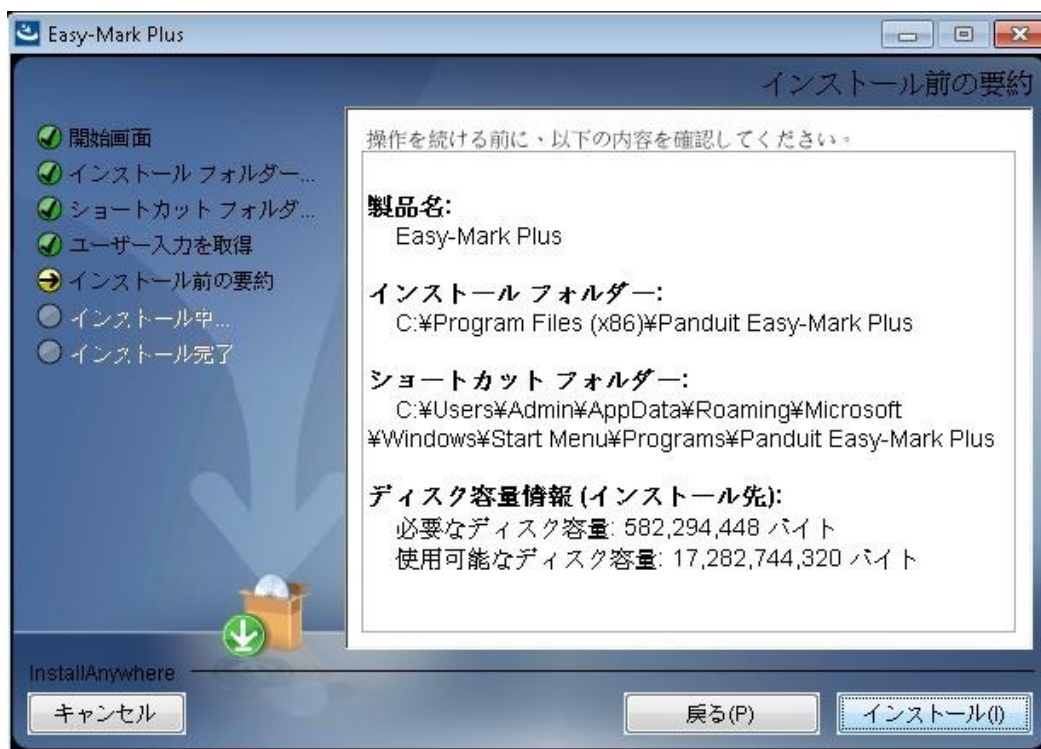
4. [開始画面]で、[次へ]をクリックしてセットアップを続行します。



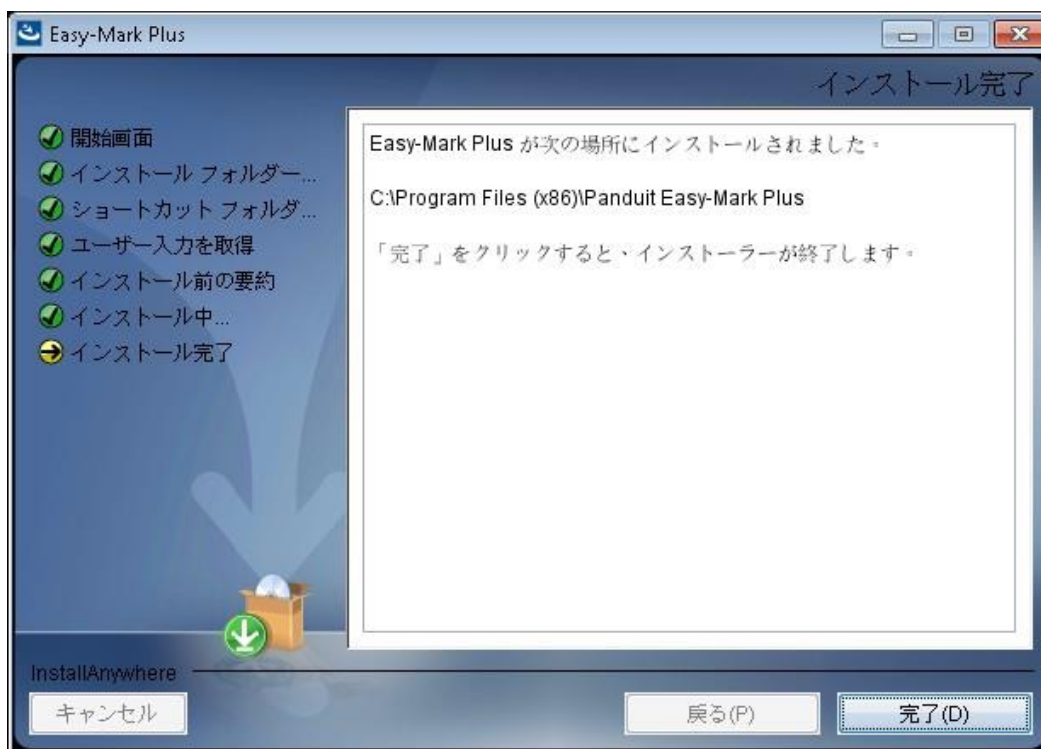
5. インストールフォルダの選択画面で、インストール先のフォルダを選択するか、デフォルトフォルダを復元します。そして、「次へ」をクリックしてセットアップを続行します。



6. インストール前のサマリーを確認し、「インストール」をクリックします。



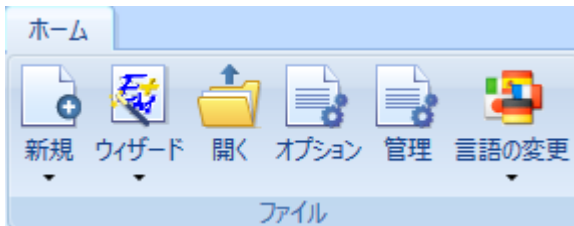
7. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。



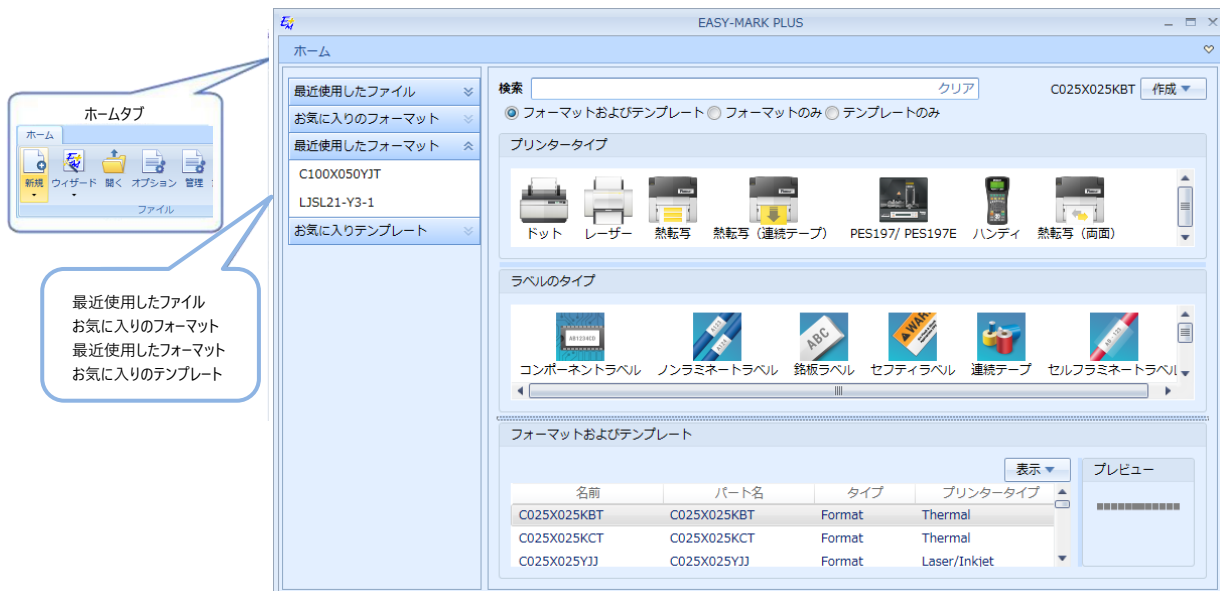
1.3. 用紙情報選択ページ概要

Easy-Mark Plus™ ラベル印字ソフトを起動すると、用紙情報選択ページが表示されます。このページから、希望するフォーマットやテンプレートに基づいて新しいプロジェクトやドキュメントを作成できます。また、ここで、Easy-Mark Plus™ を設定することもできます。

用紙情報選択ページでは、以下の機能へアクセスできます：




- **ホーム タブ > 新規**：このボタンをクリックして、新しいプロジェクトやドキュメントを作成します。詳細情報は、2.1.「新しいファイルの作成」を参照してください。
- **ホーム タブ > ウィザード**：このボタンをクリックすると、Easy-Mark Plus™ ウィザードを使用して新しいプロジェクトや新しいドキュメントを作成できます。詳細情報は、6. **ウィザードの操作**を参照してください。
- **ホーム タブ > 開く**：このボタンをクリックすると、既存のプロジェクトの1つが開きます。詳細情報は、2.2.「既存のファイルを開く」を参照してください。
- **ホーム タブ > オプション**：このボタンをクリックすると、オプションウィンドウを開いて、EasyMark Plus™ を設定することができます。詳細情報は 7. **アプリケーションの設定** を参照してください。
- **ホーム タブ > 管理**：このボタンをクリックして、設定ウィンドウを開くと、独自のカスタムフォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの作成や編集を行うことができます。詳細情報は、1.5. 「フォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの作成」を参照してください。



注記： 右上隅の矢印をクリックすると、用紙情報選択ページのホームタブを展開、折りたたむことができます。

- **最近使用したファイル**： このドロップダウンを展開すると、最近作成したファイルのリストを表示できます。
- **お気に入りのフォーマット**： このドロップダウンを展開すると、最も頻繁に使用するフォーマットのリストを表示できます。
- **最近使用したフォーマット**： このドロップダウンを展開すると、最近使用したフォーマットのリストを表示できます。
- **お気に入りテンプレート**： このドロップダウンを展開すると、最も頻繁に使用するテンプレートのリストを表示できます。
- **検索**： この検索ボックスに検索基準を入力して、特定のフォーマットやテンプレートを検索します。フォーマットやテンプレートの型番が分かる場合は、その型番を入力してください。入力した内容を含む型番のフォーマットやテンプレートがページ下にリストされます。また、プリンタータイプとラベルタイプの両方を選択して、プリンターおよびラベルタイプでフォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込むこともできます。
- **作成**： 用紙情報選択ページの下部にあるリストからフォーマットを選択したときだけ、このボタンが有効になります。このボタンをクリックして、事前に定義したフォーマットに基づいてプロジェクトまたはドキュメントを作成します。
- **プリンタータイプ**： 希望するプリンタータイプのアイコンをクリックすると、プリンタータイプ別にフォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込むことができます。

- **ラベルタイプ**： 希望するラベルタイプのアイコンをクリックすると、ラベルタイプ別にフォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込むことができます。

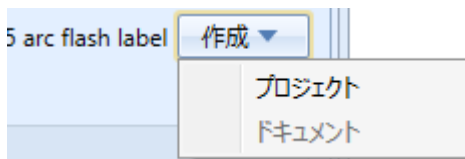
 **注記**： また、プリンタータイプとラベルタイプの両方を選択して、これらのプリンターに適したプリンターおよびラベルのタイプでフォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込むことができます。

- **フォーマットおよびテンプレート**： このリストで、作成したい新しいプロジェクトまたはドキュメントに基づいて、希望するフォーマットの名前を選択することができます。右側に、選択したフォーマットまたはウィザードのプレビューが表示されます。

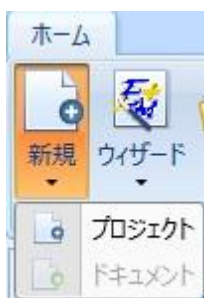
- **表示**： このボタンをクリックすると、フォーマット関連のエントリが、シンプルな名前リスト、またはプリンタータイプや説明などの詳細を含むリストのいずれかで表示することができます。

フォーマット選択の準備ができれば：

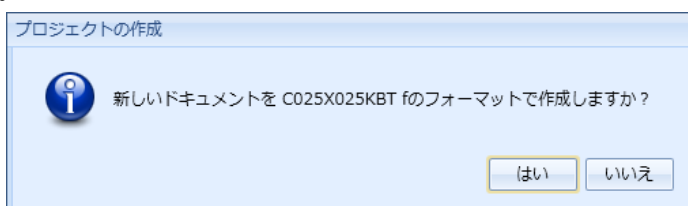
1. 用紙情報選択ページの右上隅で、**作成 > プロジェクト**の順にクリックして新しいプロジェクトを作成するか、**作成 > ドキュメント**の順にクリックして現在のプロジェクトにドキュメントを追加します。



2. 用紙情報選択ページの左上隅で、**新規 > プロジェクト**の順にクリックして新しいプロジェクトを作成するか、**新規 > ドキュメント**の順にクリックして現在のプロジェクトにドキュメントを追加します。



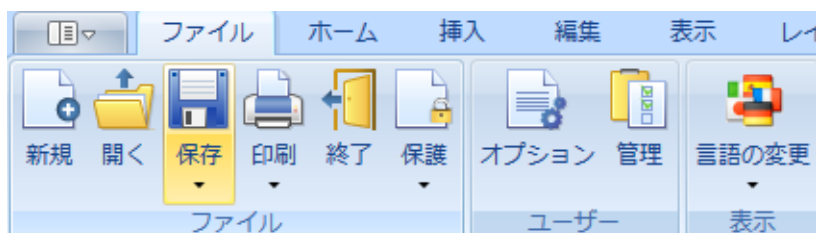
また、単に選択したフォーマットをダブルクリックするだけでもできます。最後に、確認ダイアログでは**はい**をクリックします。



1.4. リボンの概要

Easy-Mark Plus™ でラベルの操作をする場合、リボンですべての機能にアクセスすることができます。リボンは、以下のタブに分割されます： **ファイル**、**ホーム**、**挿入**、**編集**、**表示**、**レイアウト**、**フォント**、**フォーマット**。

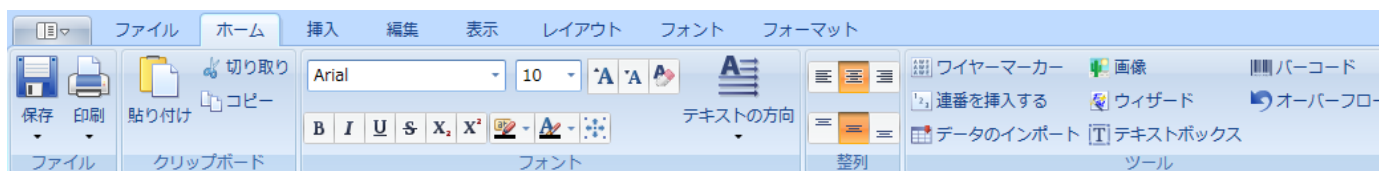
ファイル タブ



ファイルタブは、以下のセクションに分かれます：

- **ファイル**： このセクションでは、新しいファイルの作成、既存のファイルを開く、ファイルの保存や印刷ができます。それ以外に、このセクションでは、プロジェクトを無許可のアクセスから保護するためのパスワードを作成することもできます。最後に、**ファイル**セクションから、アプリケーションを終了することができます。詳細情報は、[2.ファイルの操作](#)を参照してください。
- **ユーザー**： このセクションでは、Easy-Mark Plus™ アプリケーションの設定、ならびに使用可能なフォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの管理ができます。
- **表示**： このセクションでは、Easy-Mark Plus™ のインターフェース言語を変更できます。変更した言語を適用させるためには、Easy-Mark Plus™を一旦終了し、再起動させる必要があります。

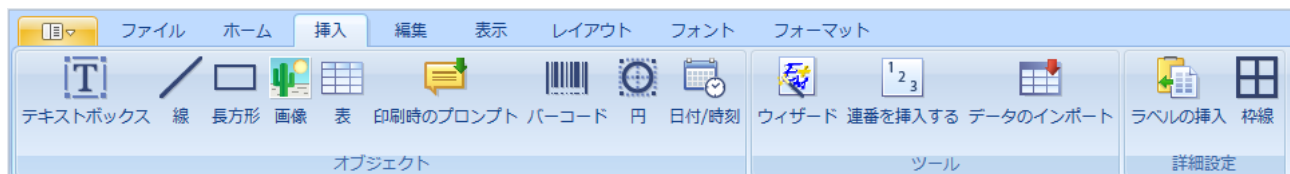
ホームタブ



ホームタブは、以下のセクションに分かれます：

- **ファイル**：このセクションでは、ファイルの保存や印刷ができます。詳細情報は、2. ファイルの操作を参照してください。
- **クリップボード**：このセクションで、標準の切り取り、コピー、貼り付けのオプションにアクセスできます。
- **フォント**：このセクションで、標準のフォント編集オプションにアクセスできます。また、ここで**自動サイズ**オプションを有効にして、ラベルのコンテンツをラベルの幅および高さに合わせることができます。詳細情報は、5.1. フォントの操作を参照してください。
- **整列**：このセクションで、コンテンツ整列オプションにアクセスできます。
- **ツール** このセクションでは、以下の Easy-Mark Plus™ ツールにアクセスできます：
 - **ワイヤーマーカー**：ワイヤーにラベルを付ける場合、よく使われる技法として、データを複数回繰り返す、あるいは「重ねる」ことがあります。ラベルをワイヤーに巻き付けられた場合に情報が見やすくなります。ワイヤーマーカーは、この作業を自動化します。
 - **連番を挿入する**： 任意の長さや順序で英字や数字の並びを生成し、それをラベルに均等に配置します。詳細は、4.4. 連番の作成ツールの使用を参照してください。
 - **データのインポート**： 外部のソースから、Easy-Mark Plus™ へデータをインポートします。詳細は、4.5. データのインポートを参照してください。
 - **画像**： ラベルに画像を追加します。詳細は、3.1.グラフィカルオブジェクトの挿入を参照してください。
 - **ウィザード**： 事前に定義されているラベルフォーマットの 1 つを選択し、設定します。詳細は、6.ウィザードの操作を参照してください。
 - **テキストボックス**： ラベルにテキストボックスを追加します。詳細は、3.1.グラフィカルオブジェクトの挿入を参照してください。
 - **バーコード**： ラベルにバーコードを追加します。詳細は、3.4.バーコードの挿入を参照してください。
 - **オーバーフロー**： ラベルのオーバーフローを検出します。つまり、テキストの折り返しが設定されておらず、ラベルからはみ出すテキストや画像を検出します。

挿入 タブ



挿入タブは、以下のセクションに分かれます：

- **オブジェクト**：このセクションで、ラベルにさまざまなオブジェクトを追加できます。
詳細情報は、3. **オブジェクトの概要**を参照してください。
- **ツール**：このセクションでは、以下の Easy-Mark Plus™ ツールにアクセスできます：
 - **ウィザード**：事前に定義されているラベルフォーマットの1つを選択し、設定します。
詳細は、6. **ウィザードの操作**を参照してください。
 - **連番を挿入する**：任意の長さや順序で英字や数字の並びを生成し、それをラベルに均等に配置します。詳細は、4.4. **連番の作成ツールの使用**を参照してください。
 - **データのインポート**：外部のソースから、Easy-Mark Plus™ ヘデータをインポートします。
詳細は、4.4. **データのインポート**を参照してください。
- **機能**：このセクションで、指定した数の空白のラベルをラベルの前後に挿入し、ラベルを境界線で囲むことができます。

編集 タブ



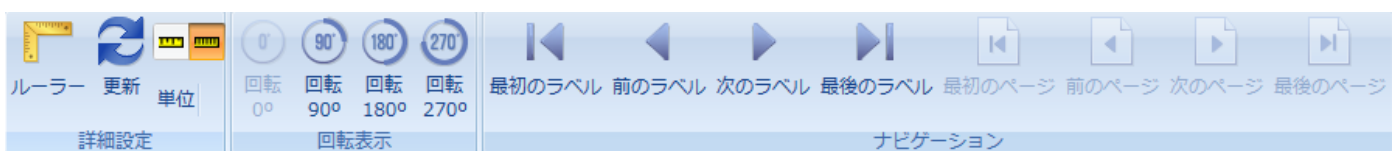
編集タブは、以下のセクションに分かれます：

- **クリップボード**：このセクションで、標準の切り取り、コピー、貼り付けの機能にアクセスできます。
- **編集**：このセクションで、以下のラベル編集機能にアクセスできます：
 - **元に戻す/やり直し**：最後の操作を元に戻すか、やり直します (Ctrl+Z および Ctrl+Y のキーボードショートカットと同じです)。
 - **すべてを選択**：現在のページのすべてのラベル、あるいは現在のラベルのコンテンツ全体を選択します。

- **グループ**： Ctrl または Shift を押しながら、複数のラベルを選択し、**グループ**をクリックして、これらのラベルのコンテンツの変更を同期させることができます。また、**グループ解除**または**再グループ化**をクリックすることで、グループの動作をキャンセルまたは変更することもできます。
 - **別**： 連番およびデータのインポートのオブジェクトを文字列に変換します。
 - **ラベルの挿入**： 選択したラベルの前後に、事前に定義された数の空白ラベルを挿入します。
 - **テンプレートの作成**： 選択したラベルを元に、テンプレートを作成します。
 - **削除**： ラベル全体、またはそのコンテンツを削除します。
 - **検索**： 特定のコンテンツを検索または置換します。
- **オブジェクト**： ラベルに挿入した特定のオブジェクトを選択すると、このセクションが有効になります。このセクションで、選択したオブジェクトのプロパティウィンドウの表示、オブジェクトの配置や整列、あるオブジェクトを別のオブジェクトへの関連付け、オブジェクトの編集のロックなどができます。
 - **表**： ラベルに挿入した特定の表を選択すると、このセクションが有効になります。このセクションで、標準の表編集オプションにアクセスできます。表のセルの結合や分割、表の行や列の挿入または削除、行や列のサイズのカスタマイズなどができます。

詳細情報は、4.1. ラベルの編集を参照してください。

表示 タブ



表示タブは、以下のセクションに分かれます：

- **詳細設定**： このセクションで、作業エリアにルーラー（定規）を表示するかどうかの指定、希望する測定単位（インチまたはミリメートル）の選択を行うことができます。
- **回転表示**： このセクションで、希望する回転角度を選択することで、ラベルの表示を回転させることができます。
- **ナビゲーション**： このセクションで、ラベル間の移動、ページ間の移動をナビゲートすることができます。

詳細情報は、4.3. ラベルの表示のカスタマイズを参照してください。

レイアウト タブ

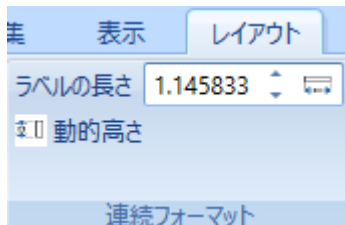
レイアウトタブは、以下のセクションに分かれます：

- **ラベルモード** このセクションで、以下のラベルモードにアクセスできます：

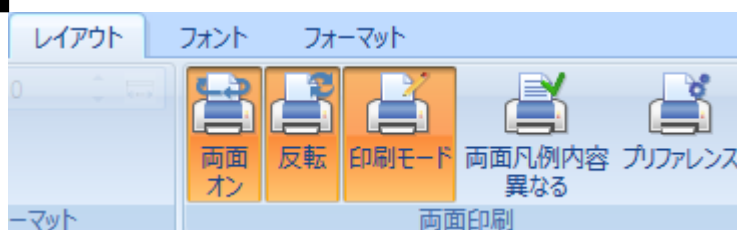


- **旗型** ドロップダウンに表示されるラベルデザインのいずれかを選択します。
- **テキスト方向** テキスト回転のオプションのいずれかを選択します。
- **ワイヤーマーカー** ワイヤーにラベルを付ける場合、よく使われる技法として、データを複数回繰り返す、あるいは「重ねる」ことがあります。ラベルをワイヤーに巻き付けられた場合に情報が見やすくなります。ワイヤーマーカーは、この作業を自動化します。
- **折り返しモード** ラベルのテキストを文字または単語の単位で折り返すかどうか、あるいはテキストの折り返しを無効にするかを選択します。

- **連続フォーマット** このセクションで、連続テープのフォーマットのラベルの長さを設定します。またテキストの入力時や、他のコンテンツを挿入する際に動的に変化するように設定することもできます。

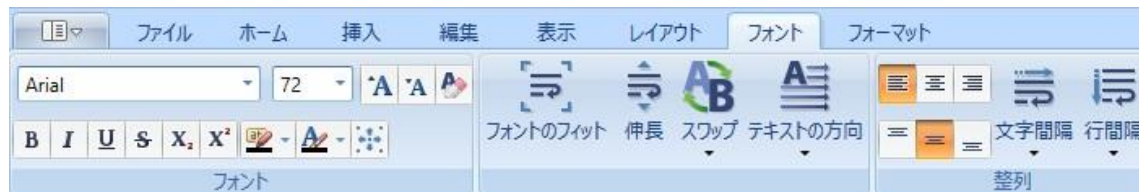


- **両面印刷** このセクションで、両面印刷に関連するオプションにアクセスできます：



詳細情報は、4.2. ラベルのレイアウトのカスタマイズを参照してください。

フォント タブ



フォントタブは、以下のセクションに分かれます：

- フォント**：このセクションで、標準のフォント編集オプションにアクセスできます。また、ここで**自動サイズ**オプションを有効にして、ラベルのコンテンツをラベルの幅および高さに合わせて調整することができます。
- フィット/伸長**：このセクションで、選択したラベルのコンテンツを調整して使用できるラベルのエリアに最適にフィットさせたり、選択したラベルを垂直方向に伸ばして可能な限りラベルのエリアに適合させたりすることができます。
- 整列**：このセクションで、標準のコンテンツ整列オプションにアクセスできます。

詳細情報は、5.1. フォントの操作を参照してください。

フォーマット タブ



フォーマットタブは、以下のセクションに分かれます：

- ドキュメントのフォーマット**：このセクションで、以下のドキュメントのフォーマット機能にアクセスできます：
 - フォーマットの切り替え**：フォーマット選択ウィンドウを開いて、現在のドキュメントに適用する別のフォーマットを選びます。
 - ドキュメントのプロパティ**：現在のドキュメントのプロパティを変更できます。
 - テンプレートの適用**：ドキュメントに対して、事前に定義されたテンプレートを選びます。
 - ラベルの余白**：ラベルの余白のサイズを指定します。これらは、ラベルの上下左右からの距離になります。
 - フォーマット更新をチェックする**：新しい使用可能なラベルのフォーマットを探します。
- お気に入り**：このセクションで、お気に入りのフォーマットやテンプレートに基づいて速やかに新しいドキュメントを作成したり、さらに多くのフォーマットをお気に入りに追加したりすることができます。

詳細情報は、5.2. フォーマットの操作を参照してください。


1.5. フォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの作成


Easy-Mark Plus™ が提供する標準のラベルフォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプに加えて、独自のカスタムフォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプを設定ウィンドウで作成、編集することができます。用紙情報選択ページで**管理**をクリックするか、**ファイルタブ**の**ユーザー**セクション内の**管理**をクリックして、このウィンドウにアクセスすることができます。


フォーマットを作成するには：

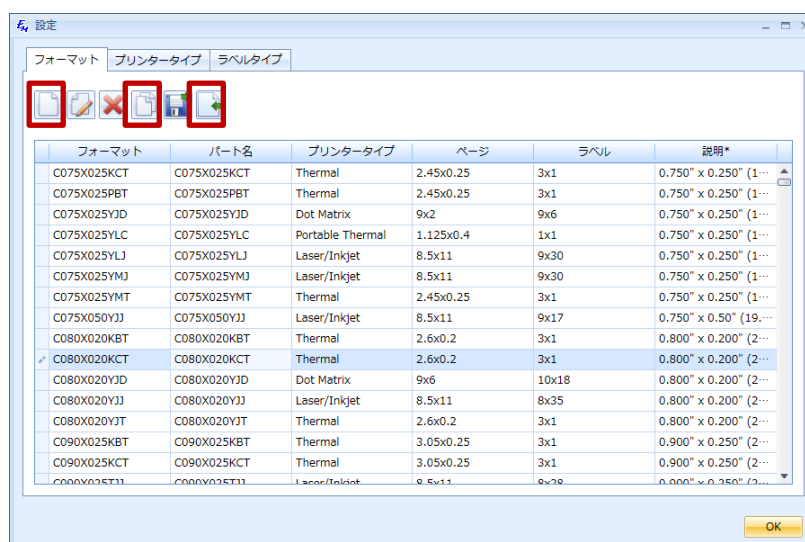
1. 設定ウィンドウを開きます。

2. フォーマットタブのツールバーで、以下の操作のいずれかを行います：

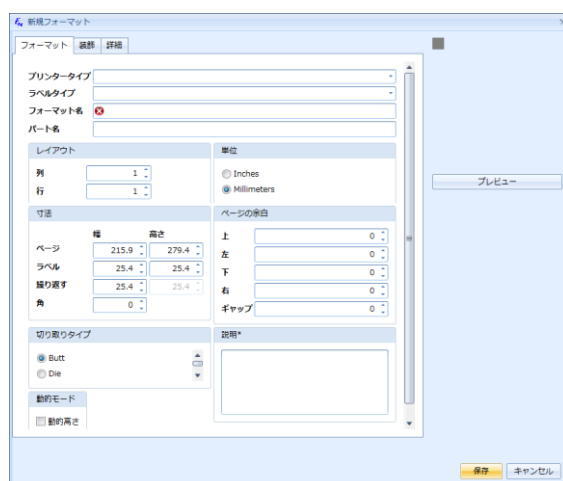
 新規アイコンをクリックして、フォーマットを初めから作成します。

 既存のフォーマットから1つ選択し、複製アイコンをクリックして、既存のフォーマットに基づいて新しいフォーマットを作成します。

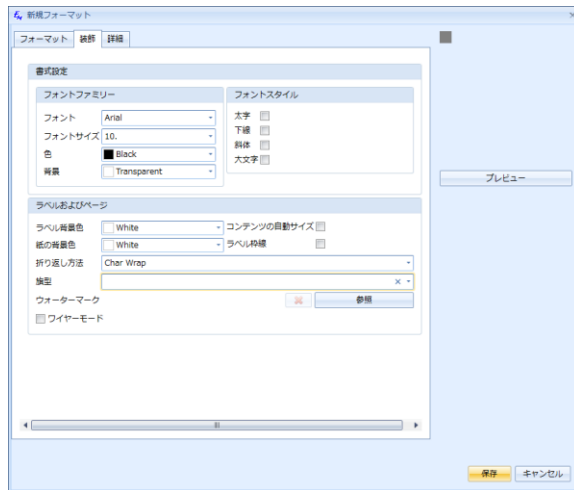
 インポートアイコンをクリックして、フォーマットをインポートします。



初めから、あるいは複製して、新しいフォーマットを作成すると、**新規フォーマット**ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、3つのタブがあります：**フォーマット**、**装飾**、**詳細**です。

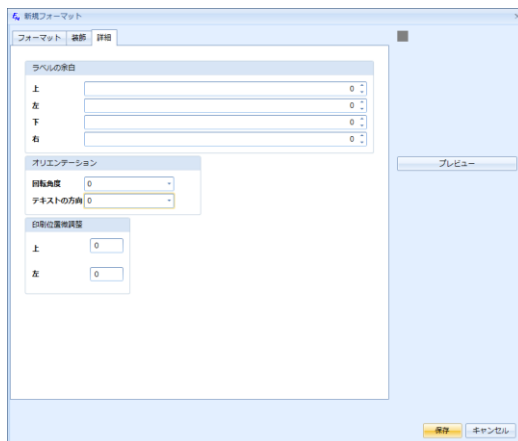


1. **フォーマット**タブで、新しいフォーマットを特定のタイプのプリンターおよび/またはラベルと関連付けます。対応するリストから、希望するプリンタータイプおよび/またはラベルタイプを選択します。
2. 名前及び、新しいフォーマットのパート名（型番）を入力します。名前の長さは、半角25文字までです。
3. フォーマットのレイアウトを指定します。レイアウトとは、いくつのラベルでページにフィットさせるかを定める、列および行の数です。列の数を入力すると、これはページで横に並ぶラベルの数になります。次に、行の数を入力すると、これはページの縦方向に並ぶラベルの数になります。
4. フォーマットで使用する単位を、インチまたはミリメートルから選択します。ここでの選択は、寸法のエントリや、余白のサイズに影響します。Easy-Mark Plus™ は、選択に応じて、インチからミリメートルへ、あるいは逆へ自動的に変換を行います。
5. ページ、ラベル、繰り返し（入力した寸法に基づいて、ラベルがページで繰り返される回数）の幅および高さ、コーナーの角度（ラベルの高さの 1/2 以下）を設定します。
6. 余白のサイズ（上、左、下、右、間隔）を設定します。余白のサイズは、ユーザーが設定したページの寸法に対するものです。これらは、ページの上下左右からの距離になります。
7. **切り取りタイプ**セクションで、**Butt**（分離したラベルおよび丸いコーナー）または**Die**（ラベルの枠が互いに接する）のいずれかを選びます。
8. 入力に合わせてラベルのサイズを動的に変更したい場合は、**動的高さ**チェックボックスを選択し、フォーマットに説明を追加します。
9. **装飾**タブで、ラベルのフォントを設定します。たとえば、フォントファミリー、サイズ、色、背景色、スタイルなどです。ラベルおよびページセクションでは、以下のパラメータを設定します：



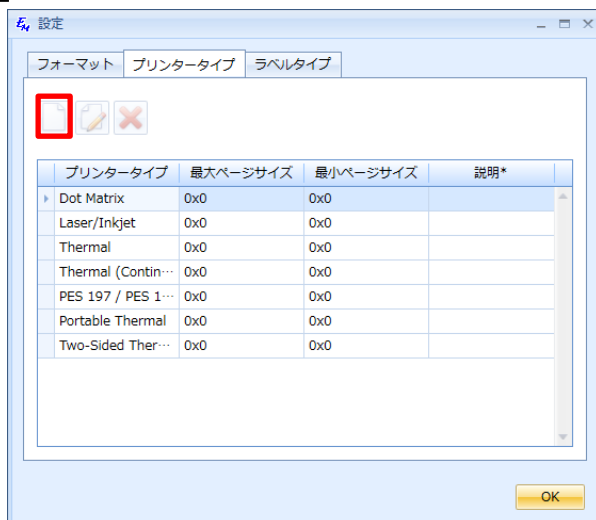
- ラベル/紙の背景色**：ラベルや紙の色は、画面表示でのみ使用します。このフォーマットを使用して印刷するラベル用紙自体の背景色が、指定したカラーのラベルであることを想定しています。実際にプリンターで印刷するための設定ではありません。
- コンテンツの自動サイズ** このチェックボックスを選択すると、ラベルのコンテンツが自動的にラベルの幅および高さにフィットします。
- ラベル枠線** ラベルに枠線を持たせたい場合、このチェックボックスを選択します。
- 折り返し方法** ラベルのテキストを文字または単語の単位で折り返すかどうか、あるいはテキストの折り返しを無効にするかを選択します。
- 旗型**：必要であれば、選択肢から旗型タイプのデザインを選択し適用します。
- ウォーターマーク（透かし模様）**：必要であれば、ラベルのウォーターマーク（透かし模様）を選びます。これはラベル編集エリア外の部分の、視覚上のイメージになります。
- ワイヤーモード**：このチェックボックスを選択すると、ウォーターマークツールがオンになります。ワイヤーにラベルを付ける場合、よく使われる技法として、データを複数回繰り返す、あるいは「重ねる」ことがあります。ラベルをワイヤーに巻き付けられた場合に情報が見やすくなります。ワイヤーマーカ-は、この作業を自動化します。

10 **詳細タブで、ラベルの余白のサイズを指定します。これらは、ラベルの上下左右からの距離になります。最後に、ラベルフォーマット表示の回転確度、及びコンテンツの入力方向を選択し設定します。**

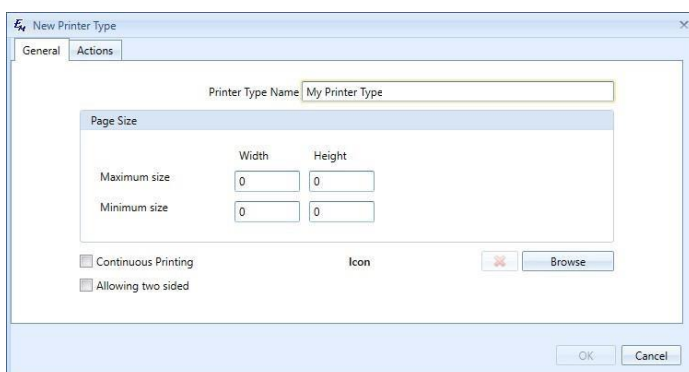


プリンタータイプを作成するには：

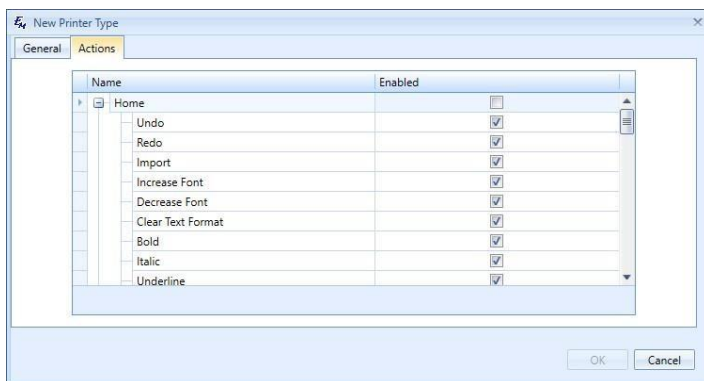
1. 管理から設定ウィンドウを開きます。
2. プリンタータイプタブへ移動します。
3. プリンタータイプタブのツールバーで、新規アイコンをクリックします。



4. 新規プリンタータイプウィンドウが表示されます。このウィンドウには、2つのタブがあります：全般および操作です。
5. 全般タブでは、プリンタータイプの名前の入力、このプリンタータイプでのページの最大および最小の寸法の幅および高さの指定、プリンタータイプのアイコンの選択を行います。
6. 新しいプリンタータイプで連続印刷が可能であれば、連続印刷チェックボックスを選択します。長いソノカットリールから連続して、紙に印刷できます。
7. 新しいプリンタータイプで紙の両面に印刷できるなら、両面を許可するチェックボックスを選択します。

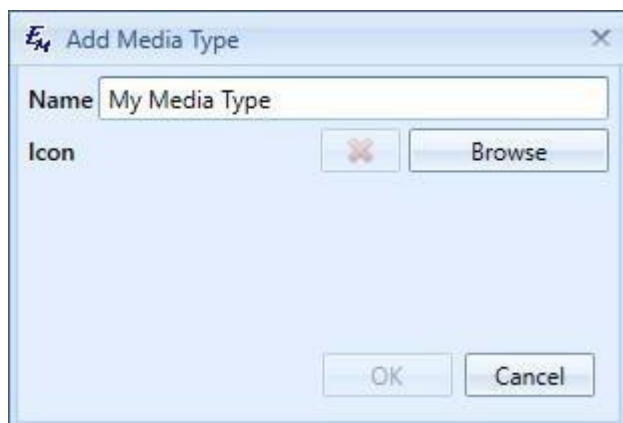


8. 操作タブでは、プリンタータイプで使用できるリボンオプションを選択します。



ラベルタイプを作成するには：

- 1.** 管理から設定ウィンドウを開きます。
- 2.** ラベルタイプタブへ移動します。
- 3.** ラベルタイプタブのツールバーで、新規アイコンをクリックして、ラベルタイプの追加ウィンドウを開きます。



- 4.** 名前フィールドで、新しいラベルタイプの名前を入力します。
- 5.** 参照をクリックして、新しいラベルタイプのアイコンを選びます。

2. ファイルの操作

2.1. 新しいファイルの作成

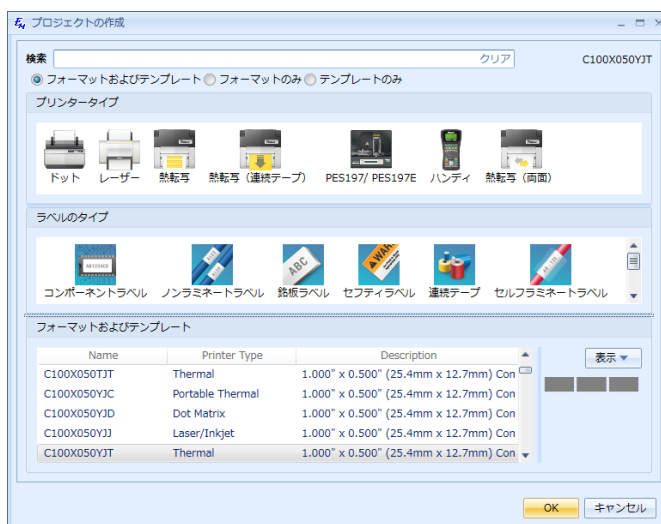
Easy-Mark Plus™ で新しいファイルを作成するには、アプリケーションの起動時に表示される用紙情報選択ページを使うか、リボンから行います。

用紙情報選択ページから新しいファイルを作成するには：

1. フォーマットおよびテンプレートのリストで、作成したい新しいファイルに基づいて、希望するフォーマットの名前を選択します。右側に、選択したフォーマットのプレビューが表示されます。
2. 必要であれば、希望するプリンタータイプ、ラベルタイプ、あるいは両方のアイコンを選択することで、フォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込みます。また、検索ボックスに直接入力して、特定のフォーマットを検索することもできます。
3. 用紙情報選択ページの右上隅で、作成 > プロジェクト または 作成 > ドキュメントの順にクリックするか、選択したフォーマットをダブルクリックします。
4. 確認ダイアログで、はいをクリックします。

リボンから新しいファイルを作成するには：

1. リボンのファイルタブで、新規をクリックします。プロジェクトの作成ウィンドウが表示されます。
2. フォーマットおよびテンプレートのリストで、作成したい新しいファイルに基づいて、希望するフォーマットの名前を選択します。右側に、選択したフォーマットまたはウィザードのプレビューが表示されます。
3. 必要であれば、希望するプリンタータイプ、ラベルタイプ、あるいは両方のアイコンを選択することで、フォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込みます。また、検索ボックスに直接入力して、特定のフォーマットを検索することもできます。
4. OK をクリックします。

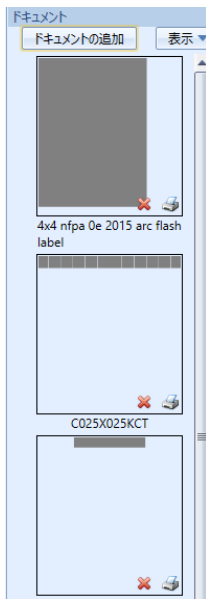


Easy-Mark Plus™ ウィザードのいずれかを使って、新しいファイルを作成するには：

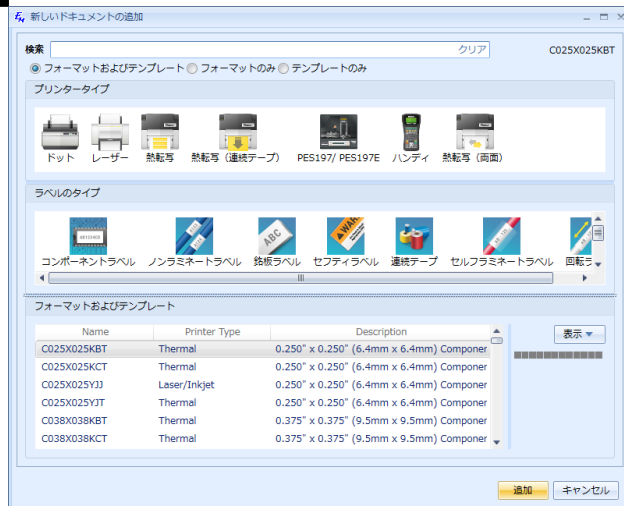
1. ホームまたは、ツールセクションのリボンにある挿入タブで、ウィザードをクリックします。
2. 希望するウィザードを選択し、そのウィザードのステップに従います。

現在のプロジェクトに新しいドキュメントを追加するには：

1. ドキュメントビューの左にあるドキュメントで、ドキュメントの追加をクリックします。



2. ドキュメントの追加ウィンドウが表示されます。



3. フォーマットおよびテンプレートのリストで、追加したい新しいドキュメントに基づいて、希望するフォーマットの名前を選択します。右側に、選択したフォーマットのプレビューが表示されます。
4. 必要であれば、希望するプリンタータイプ、ラベルタイプ、あるいは両方のアイコンを選択することで、

フォーマットおよびテンプレートのリストを絞り込みます。また、対応する基準を検索ボックスに入力して、特定のフォーマットを検索することもできます。

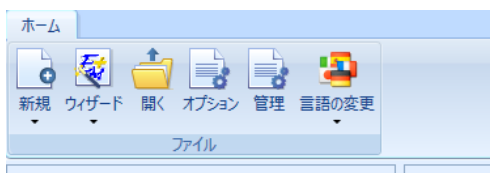
5. 追加をクリックします。

2.2. 既存のファイルを開く

Easy-Mark Plus™ で既存のファイルを開くには、アプリケーションの起動時に表示される用紙情報選択ページを使うか、リボンから行います。

用紙情報選択ページからファイルを開くには：

1. 用紙情報選択ページのホームタブで、開くをクリックします。



2. 表示されるウィンドウで、開きたいファイルをダブルクリックします。

リボンからファイルを開くには：

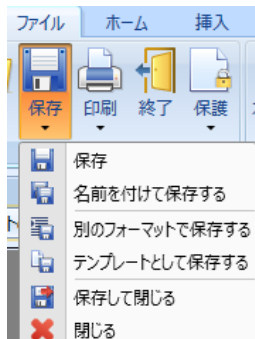
1. リボンのファイルタブで、開くをクリックします。




2. 表示されるウィンドウで、開きたいファイルをダブルクリックします。

2.3. ファイルの保存

Easy-Mark Plus™ でファイルを保存するには、**ファイルタブの保存**、またはリボンの**ホームタブ**をクリックします。以下のオプションを使用できます：



- **保存**
- **名前を付けて保存する**： ファイルを特定の場所へ、および/または別の名前を付けて保存します。
- **別のフォーマットで保存する**： ファイルに基づいて新しいフォーマットを作成し、必要であれば、このフォーマットをお気に入りのリストに追加します。
- **テンプレートとして保存する**： ファイルに基づいて新しいテンプレートを作成します。必要であれば、このテンプレートをパスワードで保護し、お気に入りのリストに追加します。
- **保存して閉じる**： ファイルを保存して、現在のプロジェクトを閉じます。
- **閉じる**： 現在のプロジェクトを閉じます。プロジェクトに保存されていない変更があると、警告ウィンドウが表示され、これらの変更を保存するかどうか選べます。

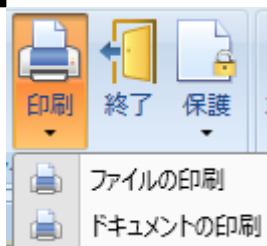
 **注記**： すべての Easy-Mark Plus™ のファイルは、**.pemx** 拡張子で保存されます。

2.4. ファイルの印刷

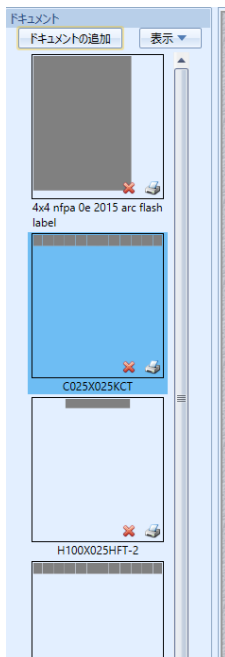
プロジェクト全体を印刷するには、**ファイルタブ**またはリボンの**ホームタブ**のいずれかで、**印刷 > ファイルの印刷**をクリックします。

特定のドキュメントだけを印刷するには：

- **ファイルタブまたはリボンのホームタブ**のいずれかで、**印刷 > ドキュメントの印刷**をクリックします。



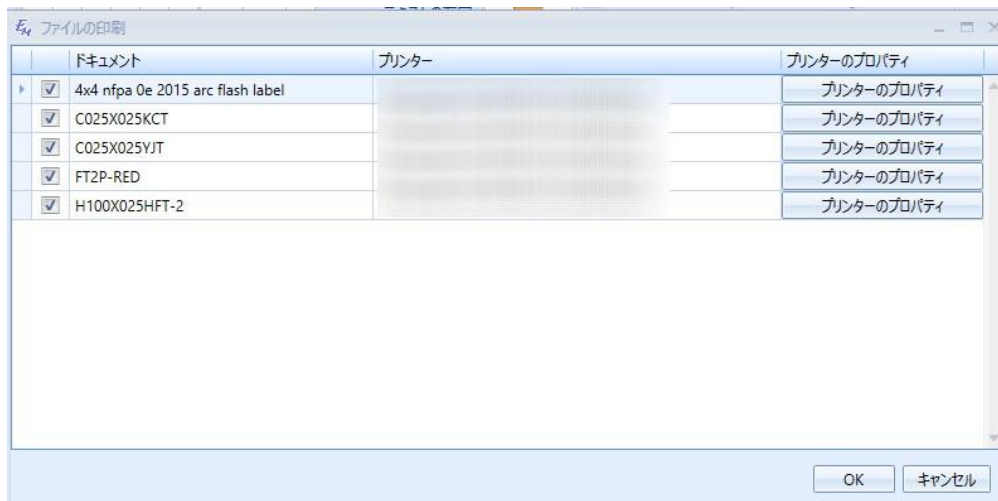
ドキュメントビューの左側にある、ドキュメントプレビューの右下隅のプリンターアイコンをクリックします。



Easy-Mark Plus™ には、ファイルやドキュメントの印刷のためのさまざまな設定があります。

ファイルの印刷： 希望するプリンターを選択し、必要であれば、追加のプリンターのプロパティを設定してから、OK をクリックしてファイルを印刷します。

注記： それぞれのドキュメントについて、**プリンターのプロパティ**ボタンで、個々のドキュメント/印刷に対する個々のプリンターのプロパティのダイアログが開きます。これは、それぞれのドキュメントフォーマットが特定のプリンターと関連付けられているからです。



ドキュメントの印刷：以下のパラメータを表示、カスタマイズすることができます：

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "印刷 - C100X150YJJ". It is divided into several sections: "プリンター" (Printer) with a dropdown menu showing "Panduit TDP43ME" and a "プロパティ" button; "印刷範囲" (Print Range) with radio buttons for "すべて" (selected) and "ラベル指定" (with input fields for "1" and "まで 42"); "コピー" (Copy) with a "印刷部数" (Print Count) spinner set to "1" and a checked checkbox for "部単位で印刷" (Print by Part); and a "詳細設定" (Advanced Settings) checkbox which is unchecked. At the bottom, there are "OK", "オプション" (Options), and "キャンセル" (Cancel) buttons.

プリンター：希望するプリンターを選択し、必要であれば、追加のプリンターのプロパティを設定します。

印刷範囲：すべてのラベルを印刷するか、特定の範囲内のラベルを印刷するかを指定します。
例：最初の 10 のラベルだけ、など。

印刷部数：印刷したいドキュメントの部数を指定し、これらの印刷をプリンターにソートさせるかどうかを決めます。

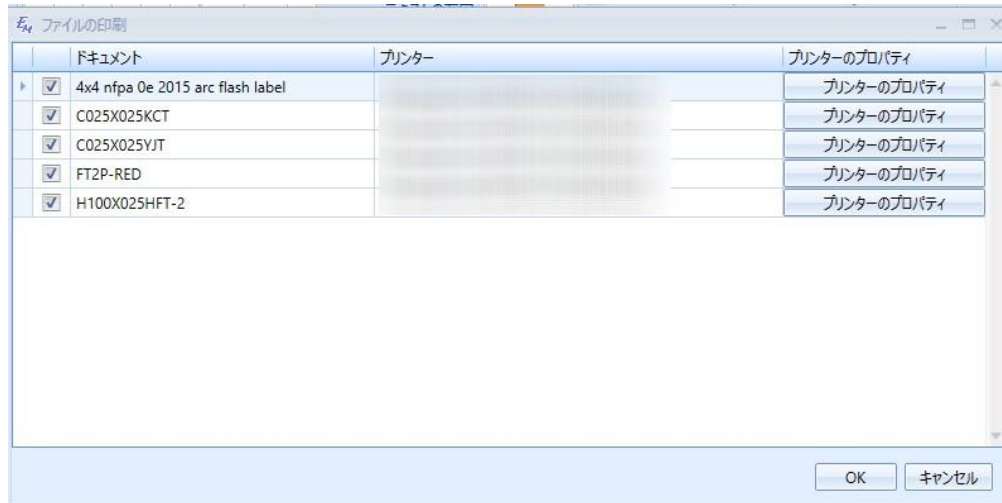
詳細設定：このボタンをクリックして、印刷開始位置の行の番号や列の番号を指定し、レーザープリンターの場合は印刷オフセットも指定します。オフセットとは、ラベルの水平/垂直コーナーの位置です。オフセットは、**上** (正 = 垂直方向下へ) または **左** (正 = 水平方向右へ) を基準にして適用されます。

- たとえば、ラベルのデータの配置が高すぎる場合は、**上**の値 (例、.7) を入力して、データをラベル上で下方向へ移動させます。この値を上げると、オフセットが増加します。
- ラベルのデータの配置が**左**に寄り過ぎている場合は、**左**の値 (例、.7) を入力して、データを右方向へ移動させます。この値を上げると、オフセットが増加します。負の値 (例、-.7) を入力すると、オフセットが下がり、データは反対方向へ移動します。
- **印刷微調整の保存**チェックボックスを選択すると、入力したオフセット値をその後も再使用することができます。保存したオフセットは、特定のプリンターおよびフォーマットの組み合わせに適用されます。

空白のラベルを除外する：コンテンツがないラベルを印刷しない場合は、このチェックボックスを選択します。

○ **オプション：印刷オプション（Print Alignment）** ウィンドウを開いて、ページに1つのラベル、1行のラベル、1列のラベル、あるいはページ全体を印刷するか決めます。目的は、印刷前にページのキャリブレーションを行うことです。ドキュメントに複数（例、100）のドキュメントがある場合、印刷では最初のページ（列、行、など）だけを含みます。選択を行ってから、**OK** をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

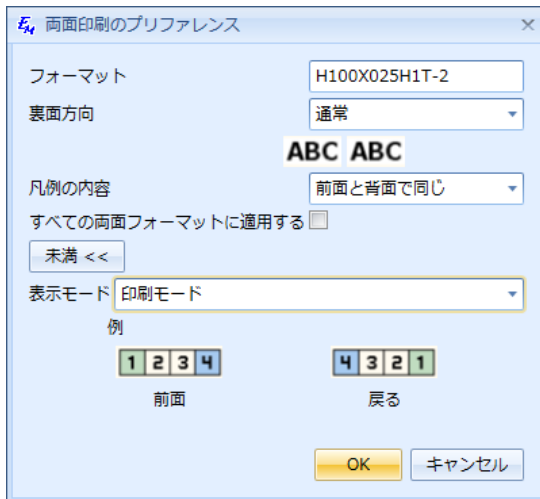
○ **プレビュー：** 印刷する前に、ドキュメントのプレビューを行います。



両面印刷

Easy-Mark Plus™ には、両面印刷用のラベルフォーマットがあります。これらのフォーマットは、両面印刷モードでも、片面印刷モードでも使えます。片面印刷の場合、Easy-Mark Plus™ の操作は標準フォーマットの場合と同じです。

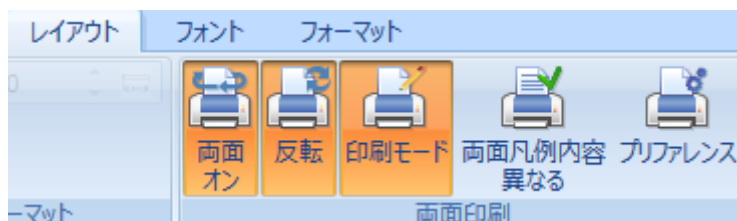
レイアウトタブの両面印刷セクションが有効になるのは、たとえば熱転写（両面）などの紙の両面に印刷できるタイプのプリンターの場合だけです。このプリンタータイプで新しいプロジェクトやドキュメントを作成すると、両面印刷のプリファレンスウィンドウが表示されます。



このウィンドウには、以下のオプションがあります：

- **フォーマット**： 両面プリンターに対して選択したフォーマットの名前が記載された、編集できないフィールドです。
- **裏面方向**： 該当するラベルの裏面のコンテンツを、そのラベルの表面に対して 180 度回転させるかどうかを指定します。
- **凡例の内容**：
 - **前面と背面で同じ**： このモードを選択すると、表面で作成したコンテンツが、自動的に裏面にコピーされます。このモードで編集できるラベルの内容は、表面だけです。
 - **前面と背面が異なる**： このモードを選択すると、表面と裏面で別々に内容を編集できます。
- **すべての両面フォーマットに適用する**： このチェックボックスを選択すると、これらの設定がすべての両面フォーマットに保存されます。
- **表示モード**： 2 つの使用可能な表示モードから選択します：
 - **編集**： 裏面のラベルは、表面と同じ方法で並べられます。
 - **印刷モード**： 裏面のラベルは、印刷時に表示されるのと同じ順番になります。つまり、表面の対応する部分とは逆の順です。

これらのオプションの大半は、**レイアウト**タブの**両面印刷**セクションでもアクセスできます：

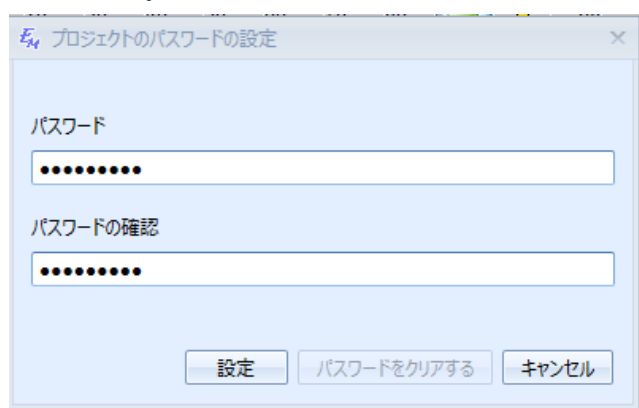


- **両面 オン/オフ**： このオプションをオンにすると、両面を印刷する際に表示されるように、ラベルのドキュメントが 2 列に分割されます。最初の列は対応するラベルの表面を表しており、二番目の列は裏面を表しています。
- **通常/反転**： このオプションをオンにすると、該当するラベルの裏面のコンテンツを、そのラベルの表面に対して 180 度回転させます。
- **編集/印刷モード**： 編集および印刷の表示モードを切り替えます。
- **両面凡例内容同じ/異なる**： **前面と背面で同じ**と**前面と背面が異なる**を切り替えます。
- **プリファレンス**： 両面プリンタータイプで新しいプロジェクトやドキュメントを作成する場合に表示されるのと同じ**両面印刷のプリファレンス**ウィンドウが開きます。

2.5. ファイルの保護

Easy-Mark Plus™ のプロジェクトは、パスワードで保護できます。そのためには、以下を行います：

1. リボンの**ファイル**タブで、**保護 > パスワードの設定**の順にクリックします。
2. **プロジェクトのパスワードの設定**ウィンドウで、プロジェクトのパスワードを入力し、確認してから、**設定**をクリックします。



3. パスワードを変更するには、**保護 > パスワードの設定**をクリックし、パスワードを確認し、**パスワードをクリアする**をクリックしてから、ウィンドウを再度開いて新しいパスワードを作成します。

3. オブジェクトの概要

3.1. グラフィカルオブジェクトの挿入

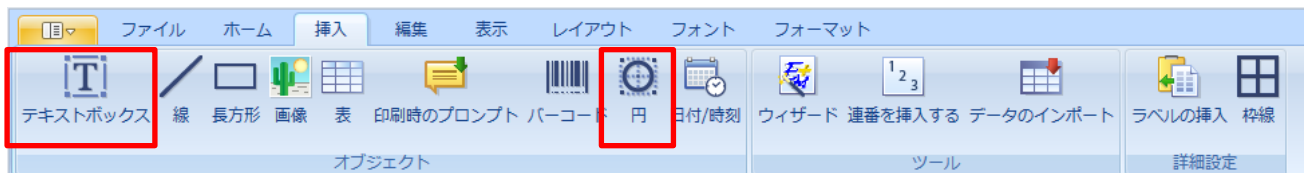
ホームタブまたはリボンの挿入タブで、さまざまなグラフィカルオブジェクトによりラベルを装飾することができます。

テキストボックスの挿入は、リボンの **[ホーム]** タブまたは **[挿入]** タブから行います。**[テキストボックス]** では、マウスをクリックおよびドラッグすることで、アクティブなラベルにテキストボックスを描画することができます。描画終わると、テキストを追加できます。すべてが完了したら、テキストボックスを右クリックして、**[プロパティ]** を選択して、テキストボックスオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。

テキストボックスの挿入

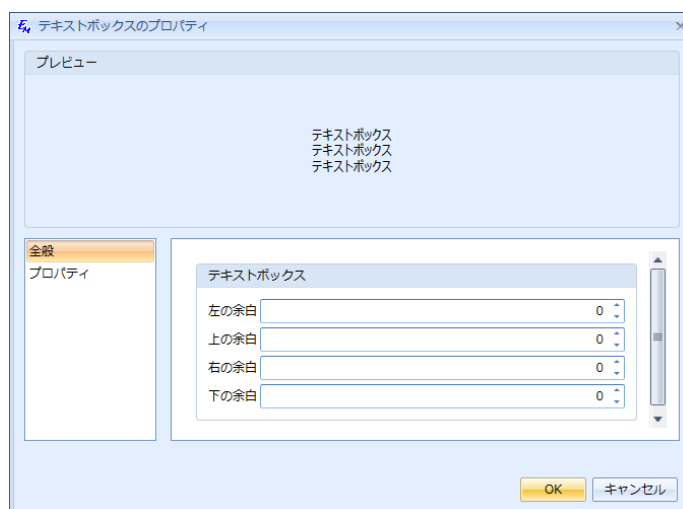
テキストボックスとは、テキストが入る任意のサイズの長方形または円形のボックスです。ラベルの任意の位置にテキストを配置したい場合に、テキストボックスが必要になります。

テキストボックスの挿入は、**ホーム**タブまたはリボンの**挿入**タブから開始できます。挿入するラベルを選択し、**テキストボックス**をクリックすると、マウスのポインターが **+** になります。その状態でマウスをクリックしドラッグすると、ラベルにテキストボックスが表示されます。描かれたら、テキストを追加することができます。完了後、テキストボックスを右クリックし、**プロパティ**を選択して、テキストボックスオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。

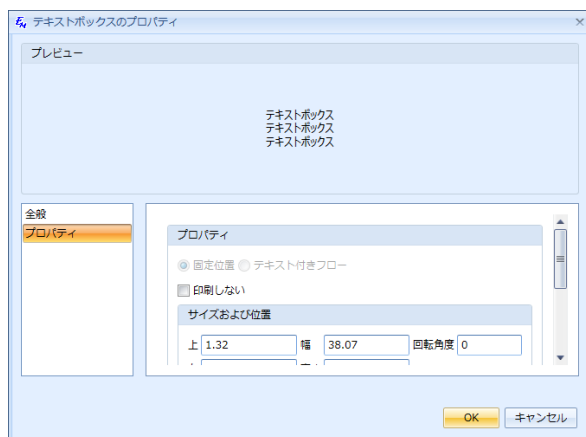


ウィンドウには、2 つのタブがあります：**全般**および**プロパティ**です。

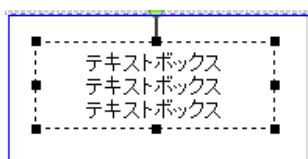
- **全般**タブでは、テキストボックスでのテキストの流れのプレビューを表示し、このテキストの余白を指定することができます。値を変更すると、プレビューが値に合わせて変化します。




- プロパティタブで、印刷しないチェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。またテキストボックスの幅や高さをカスタマイズしたり、配置位置を設定することができます。色および反転セクションでは、テキストボックスオブジェクトの背景色を選択し、設定することができます。背景色を変更すると、プレビューの背景色も変化します。



テキストボックスは、プロパティのダイアログの外側でも修正できます。ダブルクリックして追加のテキストを入力します。オブジェクトの端をドラッグすると、サイズを変更することができます。また、テキストボックスを回転させることもできます。

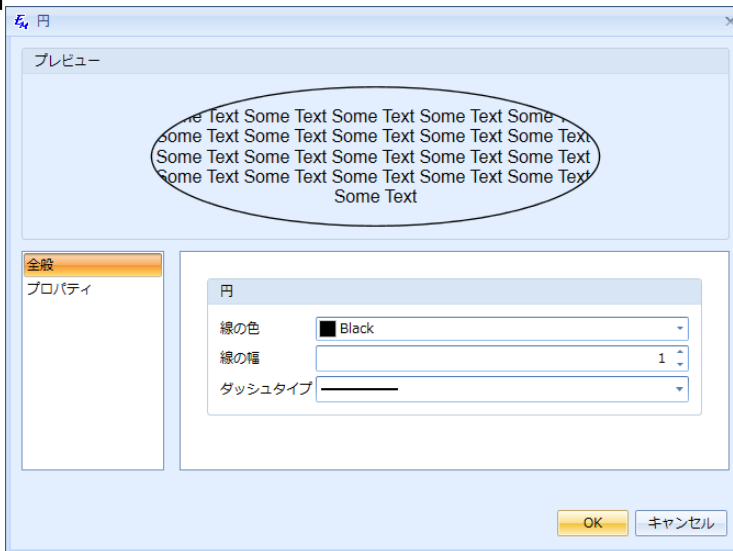


- テキストボックスに連番を追加できます。連番作成は、通常連番と同様の操作方法です（連番の作成パートを参照）。連番を追加するには、編集モードでテキストボックスを入力し、リボンの [挿入] タブで [連番を挿入する] をクリックすると、連番のダイアログボックスが開きます。設定を完了しダイアログを保存すると、連番のそれぞれの要素について、隣接するラベルにテキストボックスが繰り返されます。必要であれば、新しいラベルが作成され、これらの新しいテキストボックスがそこに含まれます。ラベルの編集モードでは、連番を含んでいるテキストボックスを削除すると、連番が分割されます。

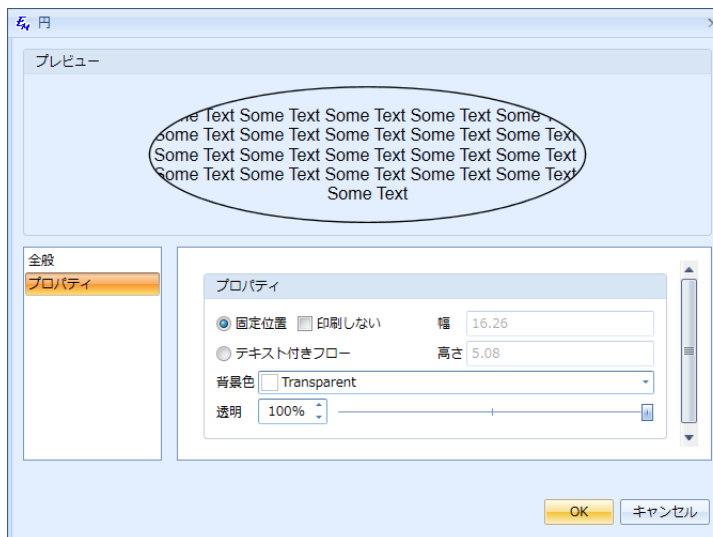
 **注記：** 1つのテキストボックスに挿入できる連番は1つだけです。

円形のテキストボックスのウィンドウには 2 つのタブがあります：**全般**と**プロパティ**です。

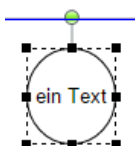
- **全般**タブでは、テキストボックス内のテキストプレビューを確認できます。



- **プロパティ**タブでは、テキストボックスオブジェクトでテキストを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置のテキストボックスオブジェクトでは、**印刷しない**チェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。テキストボックスオブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。最後に、ここで、テキストボックスオブジェクトの背景色を選択し、透明度を設定することができます。背景色を変更すると、プレビューの背景色も変化します。

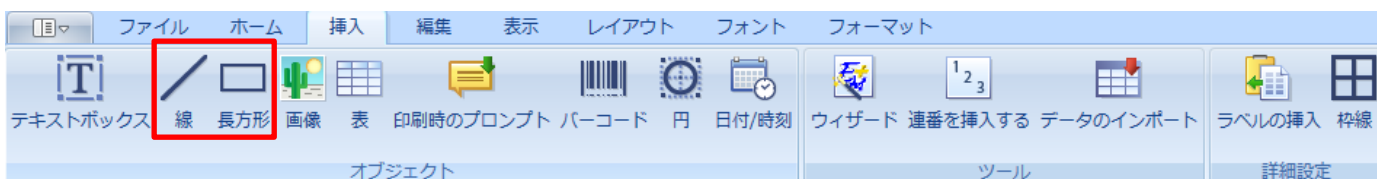


全ての設定を完了しOKをクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグしてテキストボックスを描き、それをダブルクリックしてテキストを入力します。また、テキストボックスを回転させることもできます。



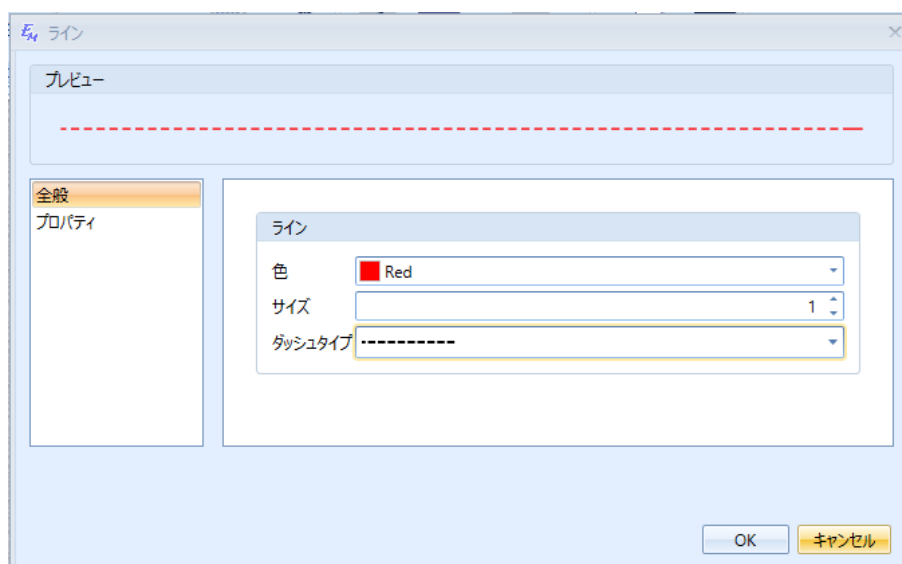
罫線および長方形の挿入

ラベルに罫線や長方形を追加することができます。リボンの挿入タブで、線または長方形をクリックして、対応するオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。



罫線および長方形のオブジェクトには、同じプロパティウィンドウがあります。ウィンドウには、2つのタブがあります：
全般およびプロパティです。

- **全般**タブでは、罫線または長方形のプレビューの表示、ならびに罫線の色、罫線のサイズ (太さ)、ダッシュタイプの指定ができます。値を変更すると、プレビューが値に合わせて変化します。



- **プロパティ**タブでは、テキストボックスオブジェクトで罫線や長方形のオブジェクトを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置の罫線または長方形のオブジェクトでは、印刷しないチェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。罫線または長方形のオブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。最後に、ここで、罫線または長方形のオブジェクトの背景色を選択し、透明度を設定することができます。値を変更すると、値に合わせてプレビューが変化します。

全ての設定を完了しOKをクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグして、線または長方形のオブジェクトを描きます。また、長方形を回転させることもできます。

画像の挿入

ラベルに画像を挿入することができます。ホームまたはリボンの挿入タブのいずれかで、**画像**をクリックすると、画像のプロパティウィンドウが開きます。



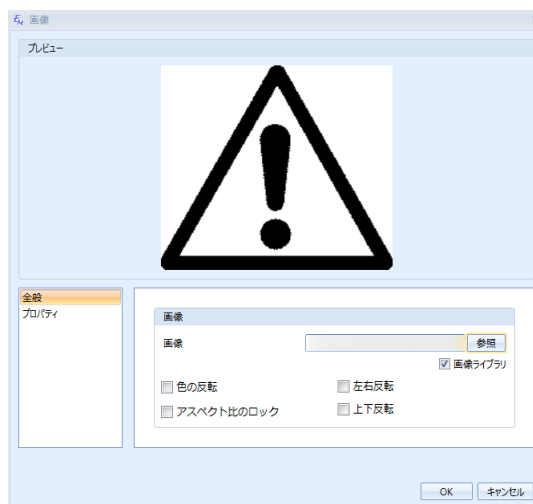
ウィンドウには、2つのタブがあります：**全般**および**プロパティ**です。

- **全般**タブで、ラベルに挿入したい画像を参照します。画像を選択すると、ウィンドウの上部のプレビューに表示されます。値を変更すると、プレビューが値に合わせて変化します。ライブラリから画像を選択したい場合は、**画像ライブラリ**チェックボックスを選択します。それ以外に、以下の画像編集オプションを使用できます：

- **色の反転**

- **アスペクト比のロック**： 画像の高さを変更しても画像の幅を変えたくない場合、あるいはその逆の場合、このチェックボックスを選択します。

- **左右反転/上下反転**： これらのチェックボックスを選択すると、画像は水平または垂直に反転されます。

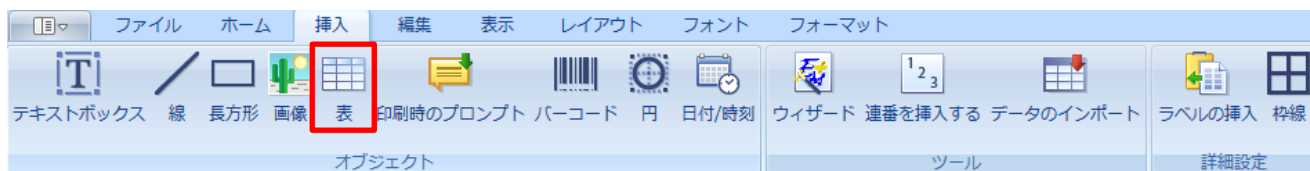


- 1 **プロパティ**タブで、画像オブジェクトでテキストを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置の画像オブジェクトでは、**印刷しない**チェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。画像オブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。最後に、ここで、画像オブジェクトの背景色を選択し、透明度を設定することができます。

全ての設定を完了しOKをクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグして画像を挿入します。また、画像を回転させることもできます。値を変更すると、プレビューが値に合わせて変化します。

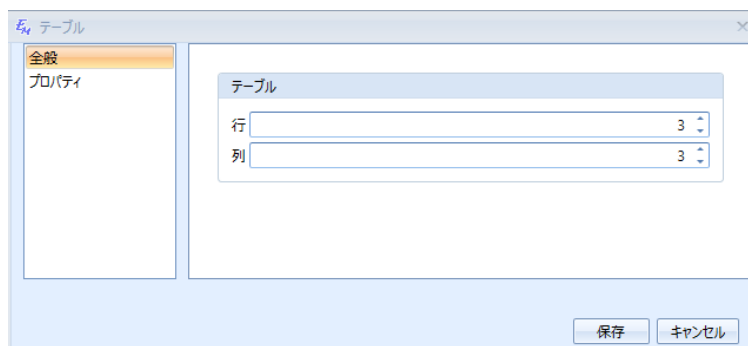
表の挿入

ラベルに表を追加することができます。リボンの**挿入**タブで、**表**をクリックして、対応するオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。



ウィンドウには、2つのタブがあります：**全般**および**プロパティ**です。

- 1 **全般**タブでは、表の行および列の数を指定します。




- 1 **プロパティ**タブでは、表オブジェクトでテキストを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置の表オブジェクトでは、**印刷しない**チェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。表オブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。最後に、ここで、表オブジェクトの背景色を選択することができます。

全ての設定を完了しOKをクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグして、表を描きます。また、表の端に強調表示されるハンドルを使って、表のサイズの変更や、表の回転を行うこともできます。表を配置すると、それぞれのセルにテキストを追加することができます。ラベルに関する操作の多くは、それぞれのセルに適用されます。セルにテキストを追加するには、セルをクリックして、入力できます。セルの詳細な編集を行うには、ダブルクリックして、意図する場所にカーソルを表示させます。

- 表に連番を追加することができます。連番を追加するには、追加するセルを選択して、リボンの **[挿入]** タブで、**[連番を挿入する]** をクリックします。表で選択されたセルに連番が適用されます。

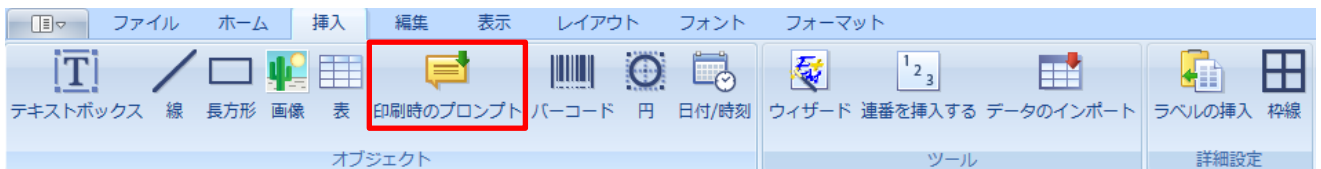
定義された連番の数が、選択したセルの数を超える場合、表を隣接するラベルに複製し、連番を対応するセルへ続けることができます。複製を可能にするには、連番の作成のダイアログウィンドウで **[詳細]** タブを開き、**[表全体]** チェックボックスを選択します。選択したセルの範囲内で連番を挿入するには、**[表全体]** チェックボックスを選択解除します。

 **注記：** **[表全体]** を選択して追加できる連番は、表毎に 1 つだけです。

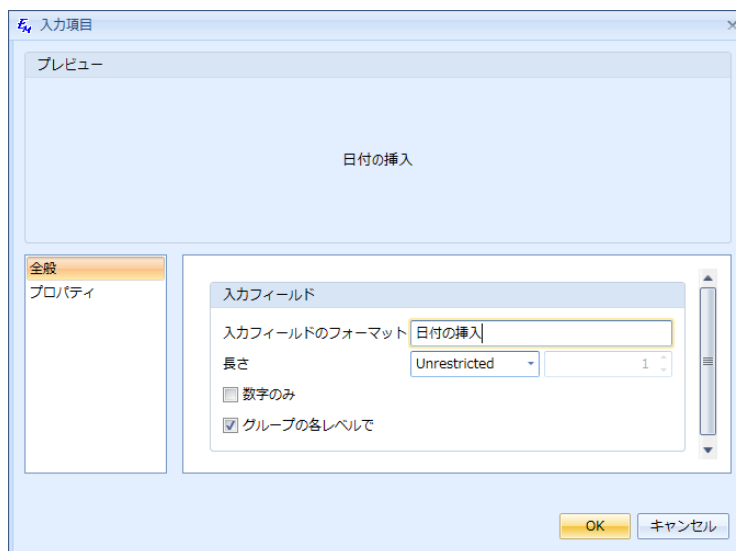
3.2. 印刷時のプロンプトの作成

印刷時のプロンプトとは、ドキュメントを印刷する前に、ユーザーがテキストを入力する入力フィールドです。たとえば、印刷する前に、ユーザーに実際の日付を入力するようにプロンプトするとします。そのためには、以下を行います：

1. リボンの挿入タブで、印刷時のプロンプトをクリックして、対応するオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。



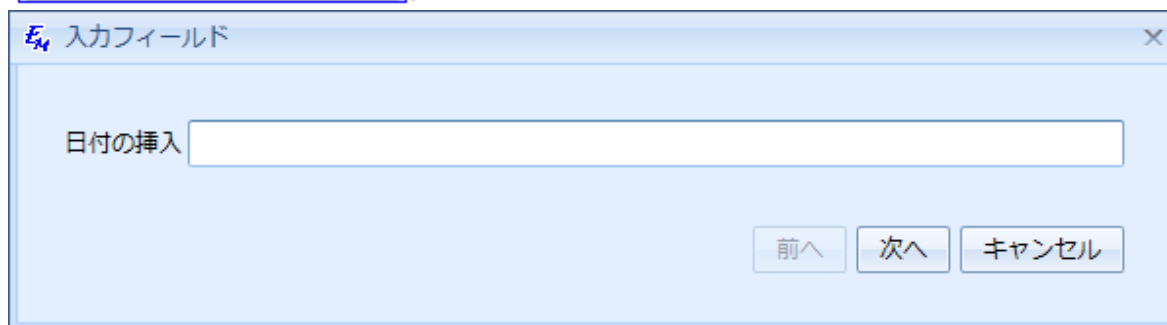
2. 全般タブで、入力フィールドのプロンプトフィールドに、たとえば「日付の挿入」と、入力フィールド名を入力します。



3. 入力フィールドに入力されるテキストの長さを制限したい場合は、長さリストの横にあるドロップダウンの矢印をクリックし、固定（Fixed）、最大（Max）、最小（Min）を選択します。
4. 隣のフィールドに、長さの値を入力します。
5. テキストを数字だけに制限したい場合は、数字のみチェックボックスを選択します。たとえば、ユーザーが日付を数字フォーマットで入力すると予想される場合は、このチェックボックスを選択します。
6. グループに属しているそれぞれのラベルに対してプロンプトを表示させたい場合は、グループの各ラベルでチェックボックスを選択します。結果として、ラベルの印刷の前に表示されるプロンプトウィンドウには、次へ (Next) ボタンが含まれます。このボタンで移動して、ラベルに固有のプロンプトを表示することができます。

🗨️ **注記：** プロンプトウィンドウの最初の画面で入力されたテキストは、自動的にこのウィンドウの次の画面にコピーされます。

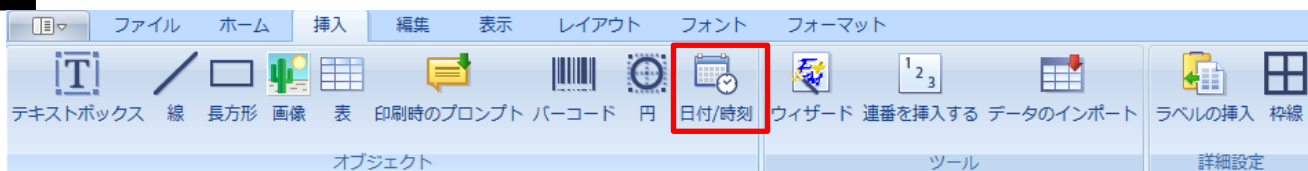
全ての設定を完了しOKをクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグして、プロンプトボックスを描きます。プロンプトウィンドウは、次回ラベルを印刷する時に表示されます。



3.3. 日付および時刻の挿入

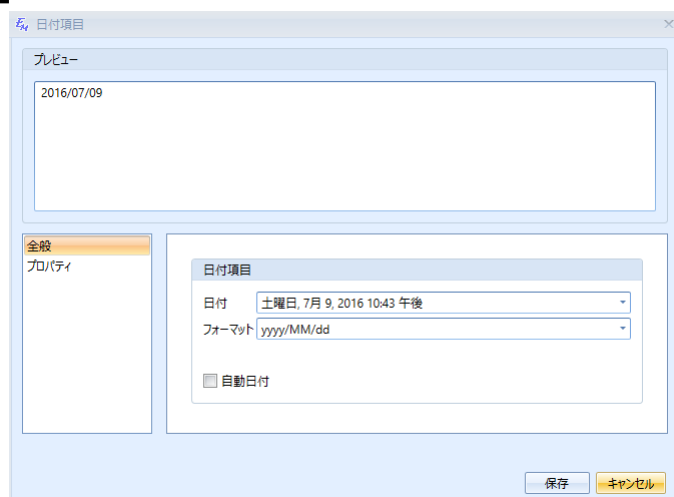
ラベルに日付および時刻を追加することができます。そのためには、以下のステップを行います：

1. リボンの挿入タブで、日付/時刻をクリックして、対応するオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。



全般タブで、対応するリストから、日付およびそのフォーマットを選択します。デフォルトの日付は現在の日付ですが、変更することもできます。毎回日付を変更したくない場合は、**自動日付**チェックボックスを選択すると、Easy-Mark Plus™ はコンピューターに設定されている現在の日付と時間だけを使用します。

- 2.



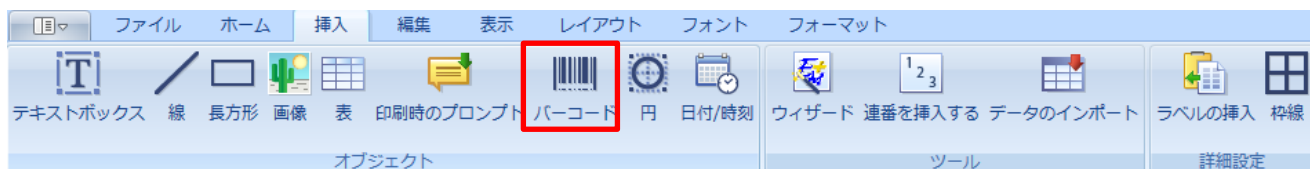
3. プロパティタブでは、日付オブジェクトでテキストを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置の日付オブジェクトでは、印刷しないチェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。日付オブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。最後に、ここで、日付オブジェクトの背景色を選択し、透明度を設定することができます。

全ての設定を完了しOKをクリックして、ラベルの一部をクリックすると、日付が表示されます。

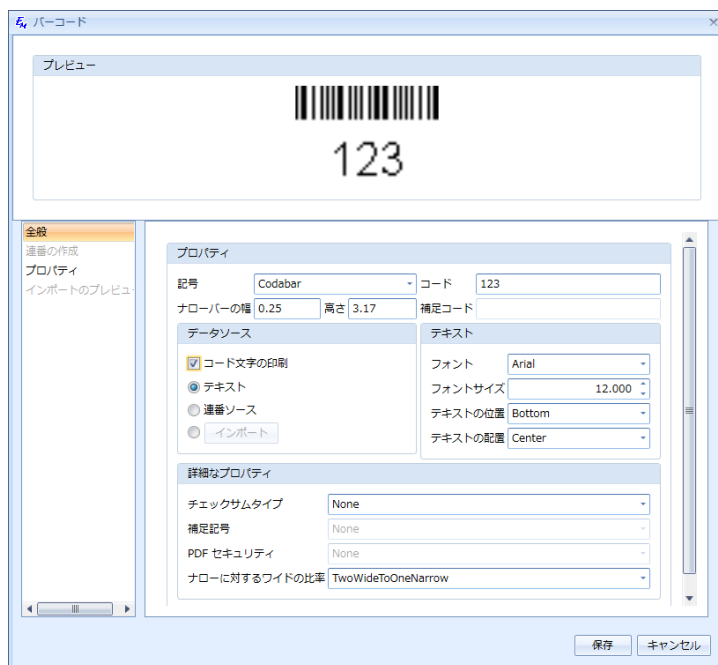
3.4. バーコードの挿入

ラベルにバーコードを追加することができます。そのためには、以下のステップを行います：

1. リボンの挿入タブで、バーコードをクリックして、対応するオブジェクトのプロパティウィンドウを開きます。



2. 全般タブで、以下のデータを指定します：



- 記号**：記号は、バーコードの符号化方式と出力フォーマットです。それぞれの記号は、標準化団体によって定義されています。この記号は、コードが従うべきフォーマットが何であるか、バーコードの記号をどのようにして構築するかを規定します。選択した記号によって、この画面のさまざまなフィールドが有効または無効になります。たとえば、特定の記号は補足記号を使用しない可能性があるため、こうした記号を選択した場合は、**補足コードフィールド**は無効になります。
- ナローバーの幅**：バーコードの記号の最も細い部分です。このフィールドは、選択した記号に応じて自動的に入力されますが、この値をカスタマイズすることも可能です。
- 高さ**：バーコードの記号の高さです。このフィールドは、選択した記号に応じて自動的に入力されますが、この値をカスタマイズすることも可能です。
- コード**：バーコードの記号を作成するために使用されるデータの値です。コードは、選択した記号の規格（例、*UPC* 記号は数字コードだけをサポート）の要件に適合している必要があります。デフォルトでは、データソースとして**テキスト**が選択され、**コードフィールド**は有効になります。バーコードのデータソースとして**テキスト**を選択した場合、バーコード記号のコードを**コードフィールド**に入力することができます。
- 補足コード**：デフォルトでは、**補足コードフィールド**は無効です。*UPC*または*EAN*記号を選択した場合、**補足コードフィールド**が有効になり、ユーザーは記号に対して追加文字を入力することができます。
- データソース**：このフィールドグループの値は、選んだ記号に応じて自動的にアクティブになります。連番からデータを取得する場合、**連番ソース**を選択すると、**連番の作成タブ**が有効になります。このタブには、**ホームタブ**または**リボンの挿入タブ**からアクセスできる連番の作成ツールと同じフィールドがあります。バーコードのコードの作成で使用できるいずれかの方法を選びます：
 - コード文字の印刷**：このチェックボックスを選択し、作成されるバーコードが、記号の一部としてコードを表示するかどうかを決めます。このチェックボックスを選択すると、**テキストグループ**のフィールドが有効になります。
 - テキスト**：デフォルトで選択されています。
 - 連番ソース**：バーコードのデータを連番から取得する場合は、このオプションを選択します。結果として、**連番の作成タブ**が有効になります。このタブには、**ホームタブ**または**リボンの挿入タブ**からアクセスできる連番の作成ツールと同じフィールドがあります。
 - インポート**：バーコードのデータを外部ソースからインポートする場合は、このオプションを選択します。結果として、**インポートのプレビュータブ**が有効になります。このタブをクリックして、インポートしたデータがどのように表示されるかを確認します。

詳細なプロパティ：

- **チェックサムタイプ**：この選択は、選んだ記号によって決まります。記号が 1 つのチェックサム計算だけを使用するなら、このチェックサムタイプは自動的にドロップダウンリストから選択されます。
- **補足記号**：このオプションは、*UPC-A* または *EAN-13* の記号を選択した場合に有効になります。結果として、メインのバーコードの横に追加コードが挿入されます。
- **PDF セキュリティ**：このオプションは、*Pdf417* 記号を選択した場合に有効になります。結果として、コノタイプの記号ではセキュリティレベルを選択できます。
- **ナローに対するワイドの比率**：このオプションは、記号のワイドバーの幅を、ナローバーの幅の倍数として指定します。

3. **プロパティタブ**では、バーコードオブジェクトでテキストを固定位置にするか、フローにするかを指定します。固定位置のバーコードオブジェクトでは、**印刷しない**チェックボックスを選択して、印刷しない選択をすることができます。バーコードオブジェクトをテキストと一緒にフローさせる場合には、幅や高さをカスタマイズすることができます。

全ての設定を完了し**保存**をクリックしたら、挿入するラベル上でマウスをドラッグするとラベルにバーコードが表示され、編集を続けることができます。

3.5. 挿入したオブジェクトの操作

リボンの**編集**タブの**オブジェクト**セクションで、既に挿入したオブジェクトに関するさまざまな操作を実行することができます。



- **プロパティ**：現在選択されているオブジェクトのプロパティウィンドウを表示します。ラベルにオブジェクトを挿入すると、同じウィンドウが表示されます。このウィンドウは、オブジェクトを右クリックして**プロパティ**を選択するか、単にオブジェクトをダブルクリックするだけでも表示できます。

■ **オブジェクトの順序**： オブジェクトが重なっている場合、以下の機能を使用して調整することができます：

○ **最前面へ移動**： オブジェクトを重なり最前面に配置します。

○ **前面へ移動**： オブジェクトを1段階前面へ移動します。

○ **最背面へ移動**： オブジェクトを重なり最背面に配置します。

○ **背面へ移動**： オブジェクトを1段階背面へ移動します。

■ **オプション**： オブジェクトが重なっている場合、以下の機能を使用して整列させることができます：

○ **左揃え**： オブジェクトを、ラベルの左側の枠線へ揃えます。また、ラベルを右クリックし、**オプション**をポイントして**左**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。

○ **中央揃え**： オブジェクトを、ラベルの左側と右側の枠線から、中央になるように配置します。また、ラベルを右クリックし、**オプション**をポイントして**中央**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。

○ **右揃え**： オブジェクトを、ラベルの右側の枠線へ揃えます。また、ラベルを右クリックし、**オプション**をポイントして**右**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。

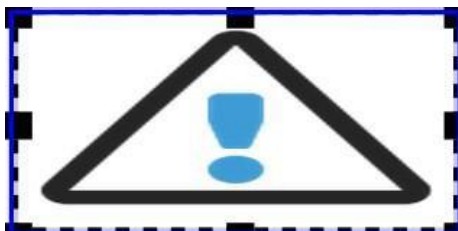
○ **上揃え**： オブジェクトを、ラベルの上側の枠線へ揃えます。また、ラベルを右クリックし**オプション**をポイントして**上**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。

○ **中揃え**： オブジェクトを垂直方向にラベルの中央へ配置します。また、ラベルを右クリックし、**オプション**をポイントして**中央**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。


○ **下揃え**： オブジェクトを、ラベルの下側の枠線へ揃えます。また、ラベルを右クリックし、**オプション**をポイントして**ボトム**を選択することでこの機能にアクセスすることもできます。

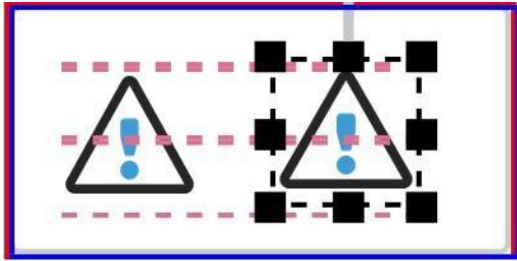
○ **水平/垂直に配分**： 複数のオブジェクトを選択し、水平または垂直に、他のオブジェクトから等距離になるように配置します。


■ **オブジェクトフィット**： オブジェクトを、ラベルの枠線から、釣り合うように伸張させます。





■ **スナップング**： スナップングは、オブジェクトを同じラベル内のほかのオブジェクトとの位置関係をもとに配置調整するときに使うガイド線です。

 **注記：** スナッピングが機能するのはオブジェクトを移動させる場合だけであり、その形を変える場合には機能しません。

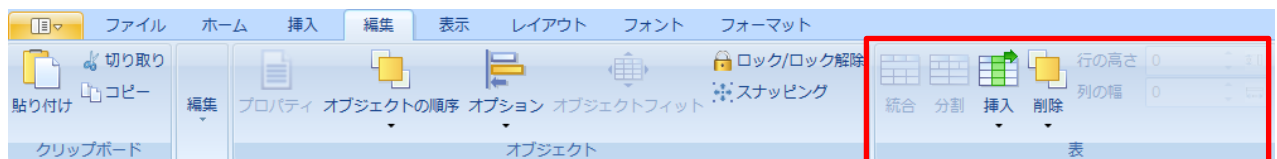


 **ロック/ロック解除：** この機能には、2つの役割があります：

 **コンテンツのロック：** 選択したラベルのコンテンツを編集できないようにし、新しいコンテンツの入力を禁止します。

 **ロック構造：** コンテンツ以外の全てのものの変更を禁止します。（プロジェクト全体をロック解除すると編集可能になります。（テーブルに関連付けられた、セルの枠線を含む全ての要素）

編集タブの**テーブル**セクションで、ラベルに挿入した表を編集することができます。Easy-MarkPlus™ は、表のセルの結合や分割、表の行や列の挿入または削除、行や列のサイズのカスタマイズなどの標準の表編集オプションを提供します。




【編集】 タブの **【編集】** セクションで、**【別】** 機能を使用することで、選択した連番やインポートしたデータを文字列に変換することができます。この操作が適用されると、連番やインポートしたデータはすべての装飾が保持された単純文字列になります。選択した連番やインポートしたデータがオブジェクト(テキストボックス、バーコード、テーブル) 内に配置されていると、オブジェクトと切り離されます。すべての関連するオブジェクトは、リンクやグループ化されることなく、独立になります。


4. ラベルの操作

4.1. ラベルの編集

リボンの編集タブの編集セクションは、以下のラベル編集機能を提供します：

- **元に戻す/やり直し**：最後の操作を元に戻すか、やり直します (Ctrl+Z および Ctrl+Y のキーボードショートカットと同じです)。
- **すべてを選択する**：現在のページのすべてのラベル、あるいは現在のラベルのコンテンツ全体を選択します。また、**すべてのラベルを選択する**オプションは、ラベルを右クリックすると表示されるメニューでも使用できます。
 **注記**：現在選択されているラベルは赤色で強調表示され、現在編集集中であるラベルは青色で強調表示されます。

- **グループ**：Ctrl または Shift を押しながら、複数のラベルを選択し、**グループ**をクリックして、選択したラベルのコンテンツの変更を同期させることができます。また、**グループ解除**または**再グループ化**をクリックすることで、グループの動作をキャンセルまたは変更することもできます。

 **注記**：グループおよびグループ解除のオプションは、ラベルを右クリックすると表示されるメニューでも使用できます。



- **ラベルの挿入**：選択したラベルの前後に、指定した数の空白ラベルを挿入します。
- **削除**：ラベル全体、またはそのコンテンツを削除します。また、右クリックして**ラベルの削除**を選択することで、ラベル全体を削除することもできます。
- **テンプレートの作成**：選択したラベルを基本としてテンプレートを作成します。この操作によって、新しいドキュメントが現在のプロジェクトに追加されます。新しいドキュメントとは：

- 選択したラベルを基本として作成されます。
- 前のドキュメントのフォーマットの定義、ラベルの入力内容を受け継ぎます。
- 選択したラベルが新しいドキュメントの一番目のラベルとして配置されます。そして一番目のラベルがテンプレートとして使用されます。
- テンプレートとして保存できます。

検索： 特定のコンテンツを検索または置換します。

Easy-Mark Plus™ は、ラベルのオーバーフローを検出します。つまり、テキストの折り返しが設定されておらず、ラベルからはみ出すテキストや画像を検出します。そのためには、**ホームタブ**へ移動し、**ツールセクションのオーバーフロー**をクリックします。**オーバーフローしたラベルを検索する**ウィンドウに、ラベルの数、はみだしのあるページ番号、ラベル番号、ラベルのコンテンツが表示されます。

ページ番号	ラベル番号	コンテンツ
1	1	sdfg 1
1	3	12343213 2313421
1	8	123432134e3213412

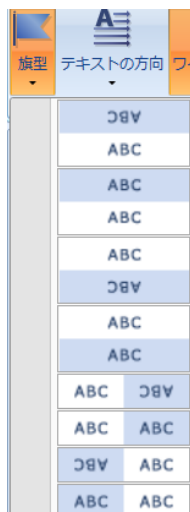
4.2. ラベルのレイアウトのカスタマイズ

ラベルのレイアウトは、リボンの**レイアウトタブ**で設定できます。

ラベルモード

レイアウトタブの**ラベルモード**セクションは、すべてのタイプのフォーマットおよびプリンターで有効です。以下のラベルモードを使用できます：

旗型： プルダウンメニューからレイアウトを 1 つ選択します。



- 

ラベルは、水平に 2 つの部分に分割されます。下の部分のテキストを入力すると（180度回転して表示）、上の部分に反映されます。上の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、水平に 2 つの部分に分割されます。下の部分のテキストを入力すると、上の部分に反映されます。上の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、水平に 2 つの部分に分割されます。上の部分にテキストを入力すると、下の部分に反映されます。下の部分のテキストは180度回転されます。下の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、水平に 2 つの部分に分割されます。上の部分にテキストを入力すると、下の部分に反映されます。下の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、垂直に 2 つの部分に分割されます。ラベルの左部分にテキストを入力すると、右の部分に反映されます。右の部分のテキストは 180 度回転されます。右の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、垂直に 2 つの部分に分割されます。ラベルの左部分にテキストを入力すると、右の部分に反映されます。右の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、垂直に 2 つの部分に分割されます。ラベルの右部分にテキストを入力すると（180度回転して表示）、左の部分に反映されます。左の部分はグレーで表示されます。
- 

ラベルは、垂直に 2 つの部分に分割されます。ラベルの右部分にテキストを入力すると、左の部分に反映されます。左の部分はグレーで表示されます。

テキストの方向： 標準の水平テキスト方向から、90、180、270 °の 3 つの可能な回転オプションで回転させます。また、ラベルを右クリックし、**テキストの方向**をポイントし、希望する回転オプションのいずれかを選択することでも、テキストの方向のオプションにアクセスできます。

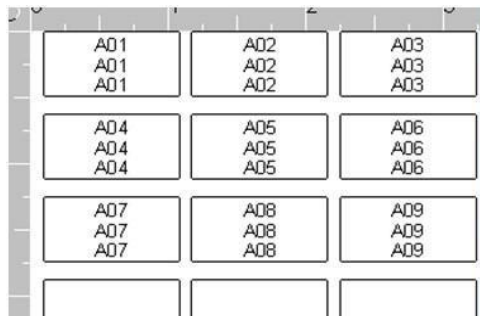


- **ワイヤーマーカー**： ケーブルにラベルを付ける場合、よく使われる技法として、データを複数回繰り返す、あるいは「重ねる」ことがあります。ラベルをケーブルに巻き付けられた場合に情報が見やすくなります。ワイヤーマーカーは、この作業を自動化します。

ワイヤーマーカーラベルを作成する場合、Easy-Mark Plus™ のワイヤーマーカーモードの利点を活用できます。

ワイヤーマーカー ツールバーボタンをクリックすることで、ワイヤーマーカーモードのオン、オフを切り替えます。結果として、ラベルのすべてのテキストが、ラベルのサイズに応じて可能な限り、何度でも繰り返されます。

ワイヤーマーカーモードでの作成例：



注記： ワイヤーマーカーでの繰り返しの回数は、ラベルのサイズとフォントのサイズの組み合わせによります。たとえば、このワイヤーマーカーのフォントのサイズを 8 ポイントに変更すると、さらに多くの罫線がラベルに表示されます。

- **折り返しモード**： このオプションが有効になるのは、ラベルを選択するか、ラベルでテキストを入力するときです。以下の折り返しモードを使用できます：

- **右端での折り返し**： 選択したラベルのテキストが、単語単位で折り返されます。

Some text
some text

- **Char配列のラップ**： 選択したラベルのテキストが、水平限度の文字で折り返されます。

Some text s
ome text

- **ラップなし**

some text sc



注記： ラップなしを選択すると、テキストはラベルの枠線を超える場合があります。その場合、Easy-Mark Plus™ は、こうしたオーバーフローのあるラベルを印刷する前に、警告を発します。ただし、Easy-MarkPlus™ にはこうしたラベルを検出する機能があります。そのためには、**ホームタブ**へ移動し、**ツールセクションのオーバーフロー**をクリックします。**オーバーフローしたラベルを検索する**ウィンドウに、はみだしのあるページ番号、ラベル番号、ラベルのコンテンツが表示されます。

ページ番号	ラベル番号	コンテンツ
1	1	sdfg 1
1	3	12343213 2313421
1	8	123432134e3213412

更新

連続フォーマット

レイアウトタブの連続フォーマットセクションが有効になるのは、たとえばサーマル (連続テープ) プリンタータイプのような、切り込みのない連続した長いラベルを使用する場合のみです。このセクションで、連続テープラベルの固定長を指定するか、動的高さモードをオンにすることができます。動的高さモードをオンにすると、テープの長さは、テキストの入力や他のコンテンツの挿入に合わせて自動で変化します。

両面印刷

Easy-Mark Plus™ には、両面印刷用のラベルフォーマットがあります。これらのフォーマットは、両面印刷モードでも、片面印刷モードでも使えます。片面印刷の場合、Easy-Mark Plus™ の画面表示は標準フォーマットの場合と同じです。

レイアウトタブの両面印刷セクションが有効になるのは、たとえば両面サーマルプリンターなどの紙の両面に印刷できるタイプのプリンターの場合だけです。このプリンタータイプで新しいプロジェクトやドキュメントを作成すると、両面印刷のプリファレンスウィンドウが表示されます。



このウィンドウには、以下のオプションがあります：

- **フォーマット**：両面プリンターに対して選択したフォーマットの名前が表示されます。編集できないフィールドです。
- **裏面方向**：該当するラベルの裏面のコンテンツを、そのラベルの表面に対して 180 度回転させるかどうかを指定します。
- **凡例の内容**：
 - **前面と背面で同じ**：このモードを選択すると、表面で作成したコンテンツが、自動的に裏面にコピーされます。このモードで編集できるラベルの内容は、表面だけです。
 - **前面と背面が異なる**：このモードを選択すると、表面と裏面で別々に内容を編集できます。

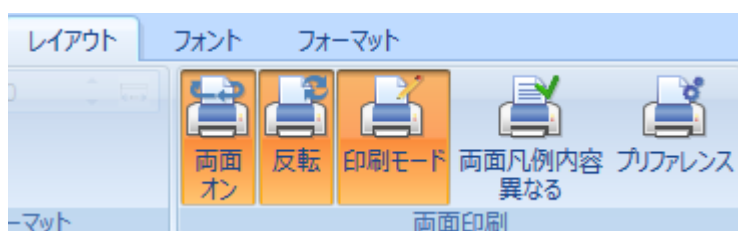
すべての両面フォーマットに適用する：このチェックボックスを選択すると、これらの設定がすべての両面フォーマットに保存されます。

表示モード：2つの使用可能な表示モードから選択します：

編集：裏面のラベルは、表面と同じ方法で並べられます。

印刷モード：裏面のラベルは、印刷時に表示されるのと同じ順番になります。
つまり、表面の対応する部分とは逆の順です。

これらのオプションの大半は、**レイアウトタブの両面印刷セクション**でもアクセスできます：



両面 オン/オフ：このオプションをオンにすると、両面を印刷する際に表示されるように、ラベルのドキュメントが2列に分割されます。最初の列は対応するラベルの表面を表しており、二番目の列は裏面を表しています。

通常/反転：このオプションをオンにすると、該当するラベルの裏面のコンテンツを、そのラベルの表面に対して180度回転させます。

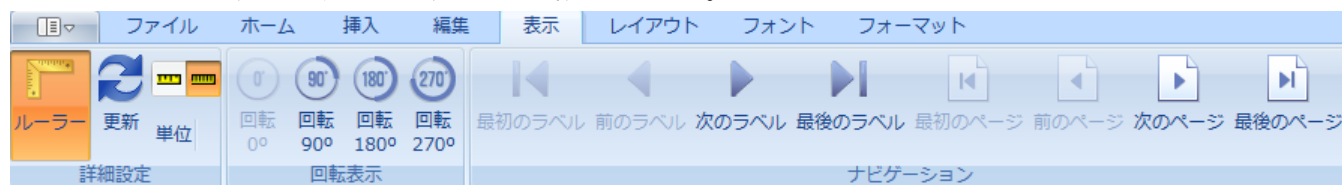
編集/印刷モード：編集および印刷の表示モードを切り替えます。

凡例の内容が同じ/異なる：前面と背面で同じと前面と背面が異なるを切り替えます。

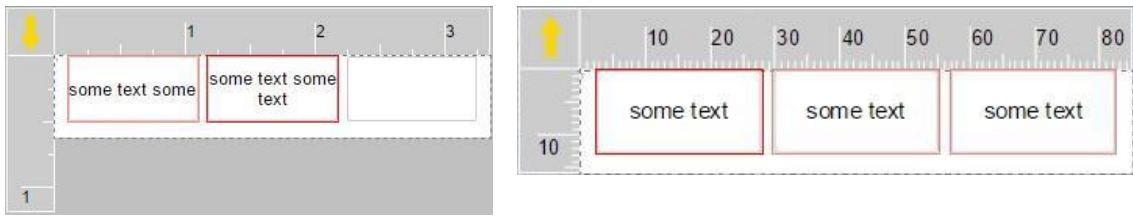
プリファレンス：両面プリンタータイプで新しいプロジェクトやドキュメントを作成する場合に表示されるのと同じ**両面印刷のプリファレンス**ウィンドウが開きます。

4.3. ラベルの表示のカスタマイズ

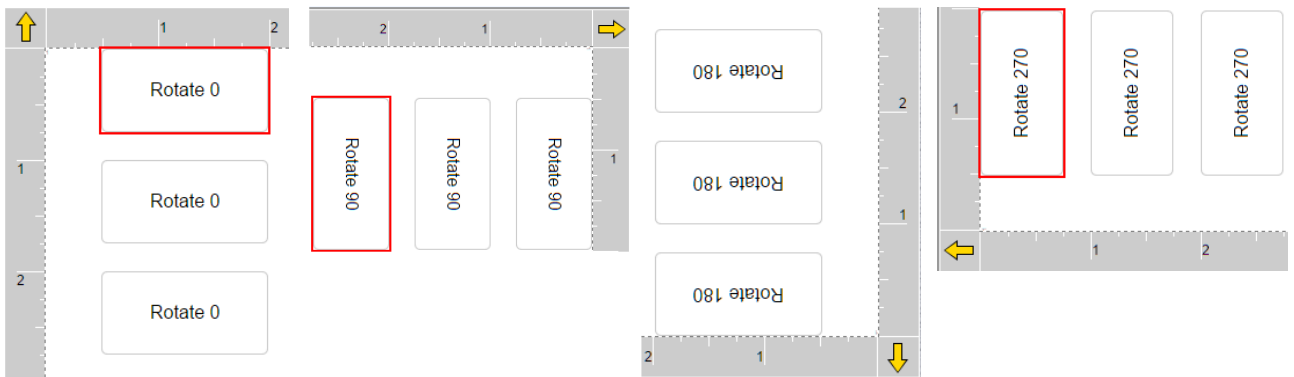
ラベルのレイアウトの表示は、リボンの**表示**タブで設定できます。



- 詳細設定**：作業エリアに定規を表示するかどうかを指定し、希望する測定単位 (インチまたはミリメートル) を選択します。



- 回転表示**：90°、180°、270°の中から、希望する回転角度を選択して、ラベルの表示を回転させます。







- 注記**：連続テープを選択している場合は、ラベルの表示はデフォルトで270°回転して表示されます。



- ナビゲーション**：ラベルとラベルのページを移動します。以下のナビゲーション機能が使用できます：

- 最初のラベル**：ドキュメントで最初のラベルへ移動します。
- 前のラベル**：現在選択しているラベルの左側のラベルへ移動します。現在選択しているラベルがページで最初のラベルであれば、選択は、該当するページが存在する場合、前のページの最後のラベルへ移動します。ドキュメントの最初のページの最初のラベルが選択されている場合は、このオプションは無効です。
- 次のラベル**：現在選択しているラベルの右側のラベルへ移動します。現在選択しているラベルがページで最後のラベルであるなら、次のラベルをクリックすると新しいラベルが作成されます。
- 最後のラベル**：ドキュメントで最後のラベルへ移動します。

- 
最初のページ：ドキュメントの最初のページへ移動します。既にドキュメントの最初のページのラベルが選択されている場合は、このオプションは無効です。
- 
前のページ：現在のページの前にあるページへ移動し、このページで最初のラベルを選択します。ドキュメントの最初のページのラベルが選択されている場合は、このオプションは無効です。
- 
次のページ：現在のページの後にあるページへ移動し、このページで最初のラベルを選択します。ドキュメントの最後のページのラベルが選択されている場合は、このオプションは無効です。
- 
最後のページ：ドキュメントの最後のページへ移動します。既にドキュメントの最後のページのラベルが選択されている場合は、このオプションは無効です。

4.4. 連番の作成ツールの使用

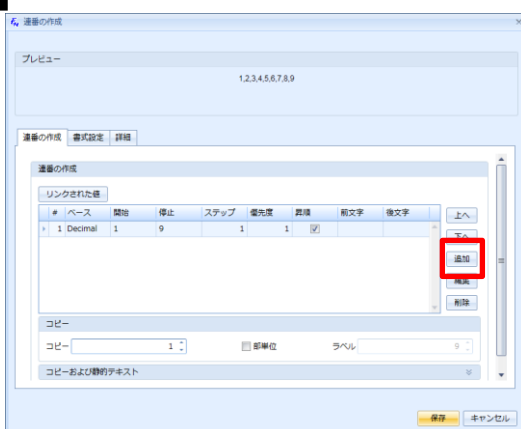
Easy-Mark Plus™ では、任意の長さおよびステップで英字や数字の並びを生成し、それをラベルに均等に配置することができます。

たとえば、文字 A、B、C、さらに 2 から 100 まで偶数が続く、英数字シーケンスを作成するとします。そのためには、以下を行います：

1. ホームタブまたは挿入タブのいずれかへ移動します。
2. ツールセクションで、**連番を挿入する**をクリックして**連番の作成**ウィンドウを開きます。



3. 表の右側にある、**追加**をクリックして表に新しい行を追加します。



4. 連番部分ウィンドウが表示されます。ベースリストで、ドロップダウンの矢印をクリックし、**Alfa**（アルファベット）を選択します。

5. 開始フィールドを、デフォルトの値である *a* のままにします。
6. 停止フィールドに *c* を入力します。
7. ステップおよび優先度フィールドを、デフォルト値のままにします。
8. 昇順チェックボックスを選択したままにします。
9. 大文字チェックボックスを選択してから、保存をクリックします。

連番部分

ベース Alpha

開始 A

停止 Z

ステップ 1

優先度 2

昇順

前文字

後文字

大文字

保存 キャンセル

10. 結果として、表のリストに新しい行が表示されます。このリストには既にDecimal(十進)のデフォルト行があり、新しい行はこのデフォルト行の下になります。文字は数字の前に行く必要があるため、新しい行を選択して、上へをクリックします。

連番の作成

プレビュー

1A,2A,3A,4A,5A,6A,7A,8A,9A,1B,2B,3B,4B,5B,6B,7B,8B,9B,1C,2C,3C,4C,5C,6C,7C,8C,9C,1D,2D,3D,4D,5D,6D,7D,8D,9D,1E,2E,3E,4E,5E,6E

連番の作成 書式設定 詳細

連番の作成

リンクされた値

#	ベース	開始	停止	ステップ	優先度	昇順	前文字	後文字
1	Decimal	1	9	1	1	<input checked="" type="checkbox"/>		
2	Alpha	A	Z	1	2	<input checked="" type="checkbox"/>		

上へ

下へ

追加

編集

削除

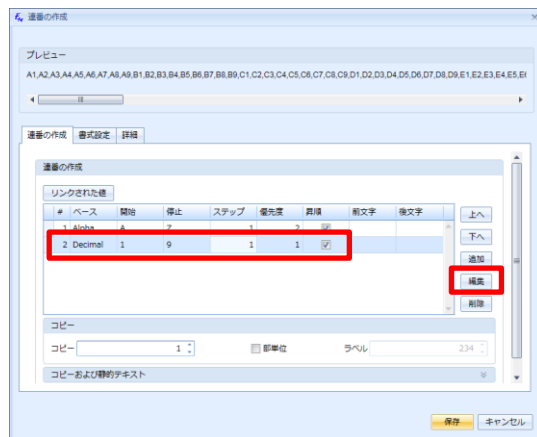
コピー

コピー 1 単位 ラベル 234

コピーおよび静的テキスト

保存 キャンセル

11. Decimal (十進) の行を選択し、編集をクリックして、連番部分ウィンドウを開きます。



12. ベースフィールドを、デフォルトの値のままにします。

13. 開始フィールドに 2 を入力します。

14. 停止フィールドに 100 を入力します。

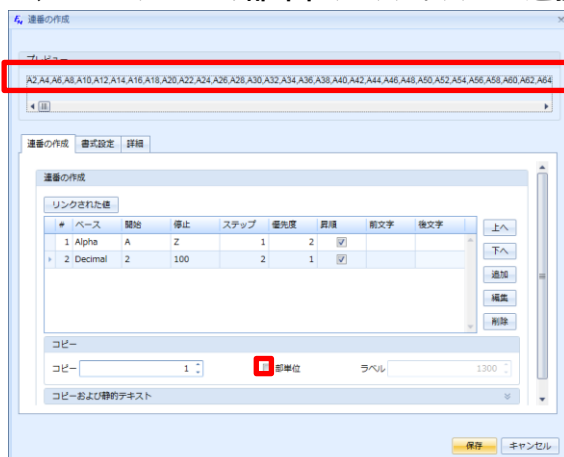
15. この例では偶数だけが必要なので、ステップフィールドで、2 を入力します。

16. 優先度セルは、デフォルト値のままにします。

17. 昇順チェックボックスを選択したままにして、保存をクリックします。



18. 設定した連番が、プレビューに表示されます。デフォルトでは、おおよそ以下の表示になります： A2, A4, A6..., B2, B4, B6..., など。連番の順序を A2, B2, C2..., A4, B4, C4... となるように再調整するには、コピーセクションの部単位チェックボックスを選択します。



19. 必要であれば、**書式設定**タブへ移動し、連番のフォントをカスタマイズしてから、**保存**をクリックします。ラベルに作成した連番が表示されます。作成した連番に対して十分なラベルがない場合、Easy-Mark Plus™ は必要な数のラベルを自動的に追加します。

230	A86	A88	A90
240			
250	A92	A94	A96
260			
270	A98	A100	B8
280	B10	B12	B14
290	B16	B18	B20
300			
310	B22	B24	B26
320			
330	B28	B30	B32
340	B34	B36	B38
350			

20. また、**コピー**および**静的テキスト**セクションで、静的テキストのプレフィックスおよびサフィックスを連番に追加することもできます。さらに、繰り返したい場合は、連番のコピー数を指定できます。

コピー

コピー 部単位 ラベル

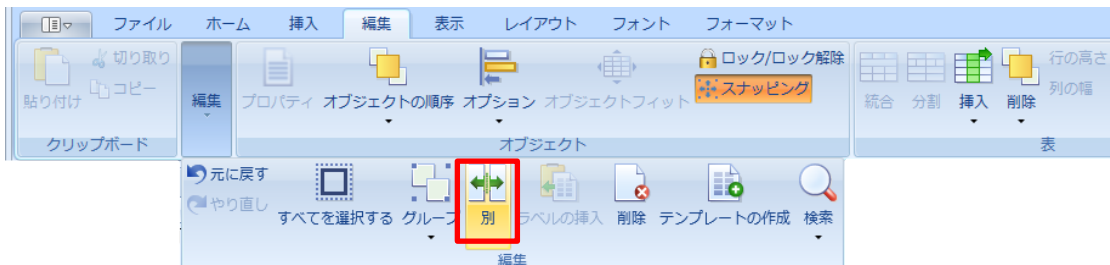
コピーおよび静的テキスト

プレフィックス

サフィックス

- テキストボックス、テーブル、バーコードなどのオブジェクトに連番を追加することができます。オブジェクトの連番は、通常の連番と同じ方法で動作します (上の部分を参照)。
- テキストボックスに連番を追加するには、編集モードでリボンの **[挿入]** タブの **[連番を挿入する]** をクリックして、**[連番の作成]** ダイアログウィンドウを開きます。連番の数だけ、ラベル上でテキストボックスが繰り返されます。ラベルの編集モードで、テキストボックスの削除、連番の保持、連番の分割などができます。
- 注記：テキストボックスに挿入できる連番は 1 つだけです。
- 表に連番を追加するには、表内の挿入するセルを選択し、リボンの **[挿入]** タブの **[連番を挿入する]** をクリックします。表内で選択したセル内に、連番が適用されます。
- 定義された連番が、選択したセルの数を超えると、連番が隣接するラベルに表と共に、必要な数だけ複製されます。複製を可能にするには、連番のダイアログウィンドウで **[詳細]** タブを開き、**[表全体]** チェックボックスを選択します。選択したセルの範囲内に連番を挿入するには、**[表全体]** チェックボックスを選択解除します。
- 注記：1 つの表につき、**[表全体]** を適用できる連番は 1 つだけです。
- 表の連番には、方向 (左から右へ、上から下へ) があり、これは**[連番の作成]** ダイアログウィンドウの **[詳細]** タブで選択できます。

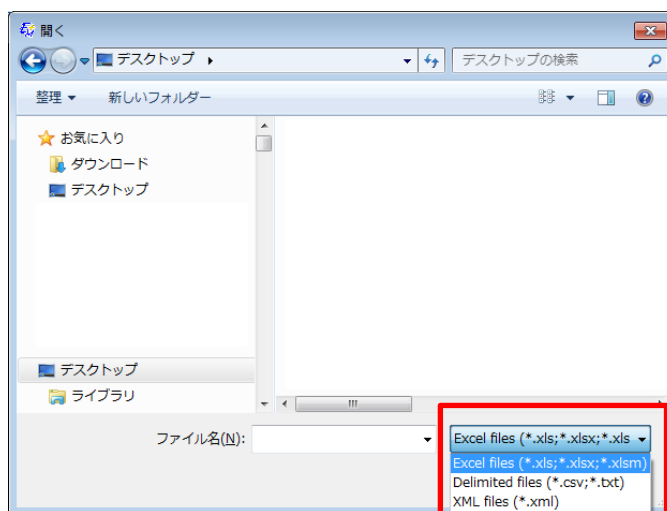
- リボンの[編集] タブの [編集] セクションでは、[別] 機能を使用して、選択した連番を文字列へ変換することができます。操作が適用されると、連番はすべての装飾が保持された単純文字列になります。選択した連番のアイテムがオブジェクト (テキストボックス、バーコード、テーブル) にある場合、オブジェクトも分離されます。すべての関連するオブジェクトは、リンクまたはグループ化されることなく、独立になります。また、連番を右クリックして、[別] を選択することで、この機能にアクセスすることも可能です。



4.5. データのインポート

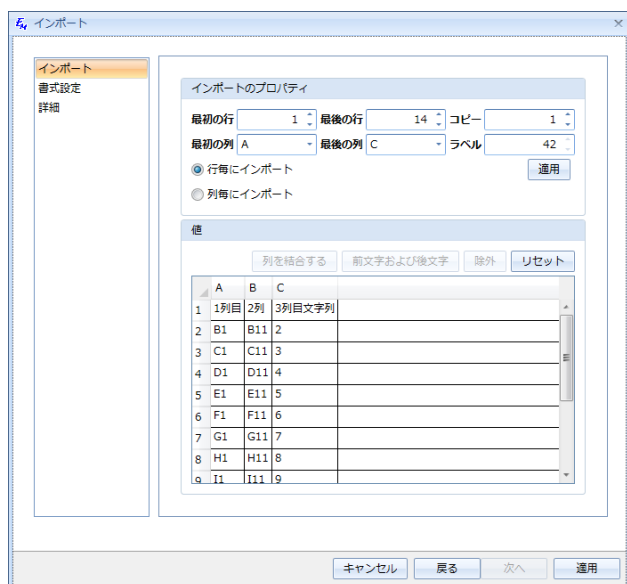
外部のソースから、Easy-Mark Plus™ へデータをインポートするには、以下を行います：

1. ホームタブまたは、リボンの挿入タブのいずれかへ移動します。
2. ツールセクションで、データのインポートをクリックしてインポートウィンドウを開きます。
3. インポートするファイルのタイプを選択します：区切り付きファイル、Excel ファイル、XML ファイル。



4. インポートするファイルを選択して開くをクリックします。
5. データプレビューウィンドウでファイルのコンテンツをプレビューしてから、次へをクリックします。

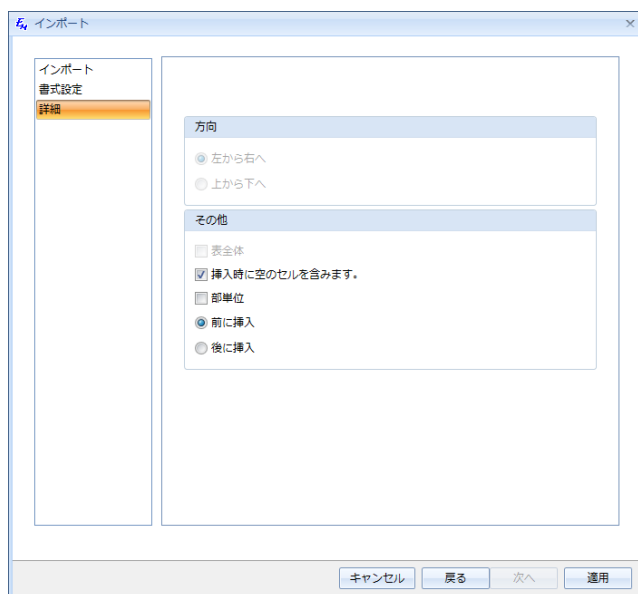
6. インポートタブの[インポートのプロパティ]セクションで、インポートするデータの範囲を行および列で指定し、ラベルのコピーの数を入力します。



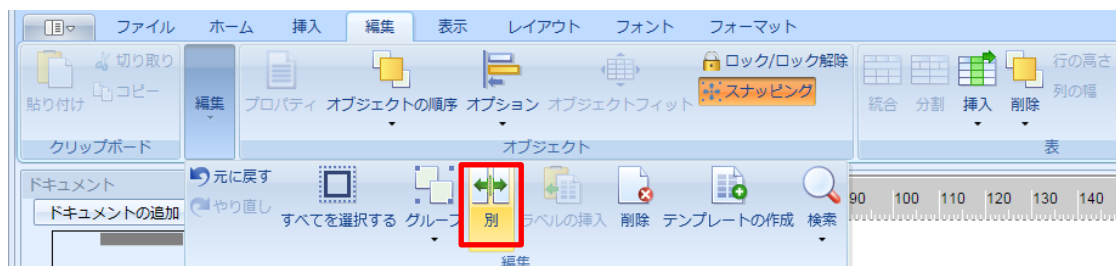
7. [値]セクションで、出力ファイルを編集することができます：

- 列を結合する：2つ以上の列を結合します。
- 前文字および後文字：インポートしたデータの前文字および後文字を入力します。
- 除外：選択した行を削除します。
- リセット：初期の設定に戻ります。

8. 詳細タブで現在のラベルの前と後ろどちらにインポートするデータを挿入するのか、さらにそれを部単位で挿入するかどうかを指定します。設定の準備ができたら、適用をクリックします。



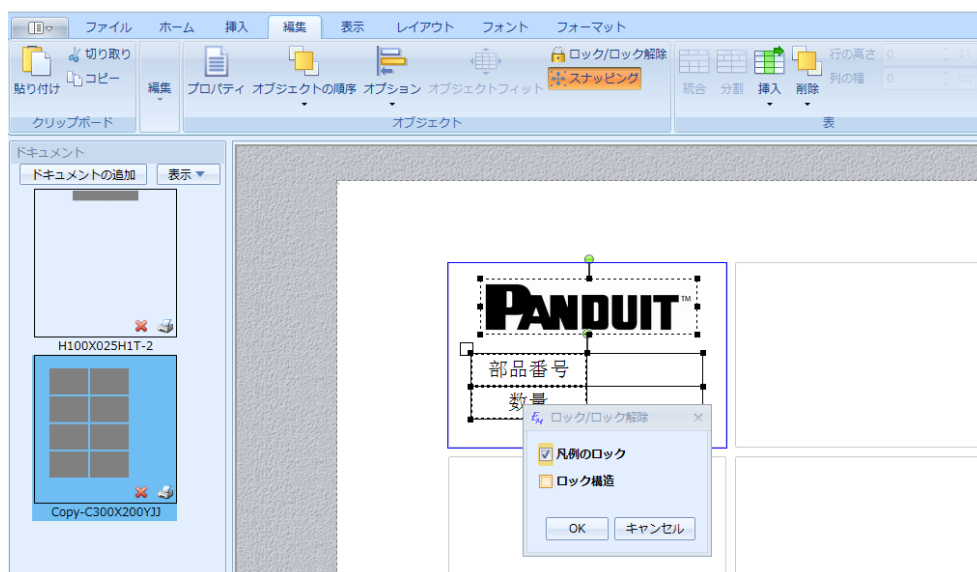
- [編集] タブの [編集] セクションで、[別] 機能を使用して、選択したデータインポートアイテムを文字列へ変換することができます。操作が適用されると、データインポート要素はすべての装飾が保持された単純文字列になります。選択したデータインポートアイテムがオブジェクト (テキストボックス、バーコード、表) にある場合、オブジェクトも分離されます。すべての関連するオブジェクトは、リンクまたはグループ化されることなく、独立になります。また、インポートしたデータを右クリックして、[別] を選択することで、この機能にアクセスすることも可能です。



4.6. テンプレートの作成

Easy-Mark Plus™では、頻繁に使用されるラベルや標識のフォーマットや内容を、再利用可能なテンプレートとしてカスタムで作成することができます。また、ラベル内のオブジェクトとテキスト入力のロックも可能です。再利用可能な標識またはラベルを作成するには、ラベルの特定の部分だけを編集可能にする必要があります。作成方法は下記のステップの通りです。

1. 要求されているフォーマットを元にファイルを作成、もしくはドキュメントを追加します。
2. ドキュメント内でテンプレートに必要な全てのコンテンツを含むラベルを作成します。
3. 設計が完了したら、将来使用する際に変更すべきでないコンテンツ、構造にロックを適用します。ロックを適用するには、ロックしたい内容を選択し、[編集]タブの[ロック/ロック解除]をクリックします。



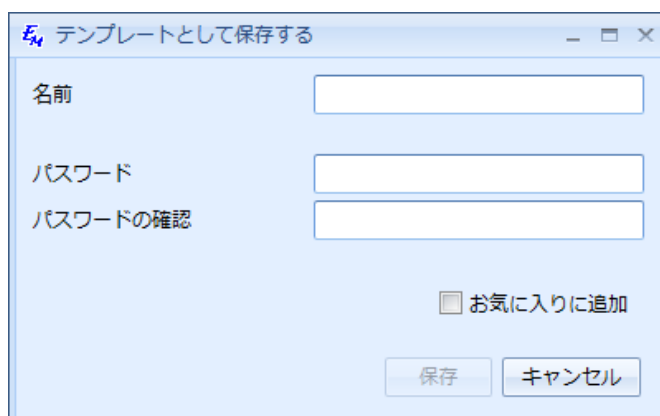
ロック可能な内容は以下のものです。

- ・ラベル全体（入力したテキスト及び枠線）
- ・画像
- ・テキストボックス
- ・表、表内のセル
- ・印刷時のプロンプト
- ・バーコード
- ・日付/時間

4. テキストを入力可能にする全てのエリア（セル、テキストボックスなど）が、ロックされていないこと（テキスト入力が可能）を確認します。

5. ラベルを選択し、ファイルタブの**保存**から、**[テンプレートとして保存する]**をクリックします。

6. テンプレートを使用するユーザーが**見つけやすい名前**を入力します。



7. 任意で**[お気に入りに追加]**にチェックを入れると、検索せずに簡単にアクセスできるようになります。

8. 任意で、保護したエリアの不正な調整を防ぐために、パスワードを設定することもできます。

9. **保存**をクリックします。

保存すると、作成したテンプレートを使用できます。**用紙情報選択ページ**または**ドキュメントの追加**ボタンを使用して作成されたドキュメントの場合、含まれる各ラベルにはテンプレートの内容が含まれ、関連するロックが継承されます。フォーマットタブの**テンプレートの適用**ダイアログを使用すると、現在のドキュメントの書式に基づいて作成されたテンプレートのみが表示されます。また、**テンプレートの適用**ボタンは、選択したラベルにのみテンプレートの内容を適用します。

5. フォントおよびフォーマットの操作

5.1. フォントの操作

フォントタブおよびリボンのホームタブで、フォントタイプ、フォントサイズ、フォントカラーなどの標準のフォントオプションを見つけることができます。これらの標準オプションに加えて、以下のようにラベルのフォントをカスタマイズすることができます：

- 増加/減少：フォントを 1 ポイント大きく、または 1 ポイント小さくします。



- フォーマットの設定をクリア：フォントに適用されているフォーマットを削除します。



- 自動サイズ：テキストを、ラベルの幅および高さにフィットさせます。



- フォントのフィット：選択したラベルのコンテンツを調整して、使用できるラベルのエリアに最適にフィットさせます。



- **伸長**： 選択したラベルを垂直方向へ伸張させ、可能な限りラベルを満たします。



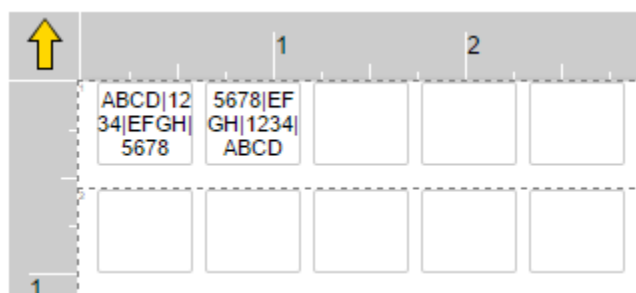
- **テキストの方向**： 標準の水平テキスト方向から、90、180、270 度の 3 つの可能な回転オプションで回転させます。また、ラベルを右クリックし、テキストの方向をポイントし、希望する回転オプションのいずれかを選択することでも、テキストの方向のオプションにアクセスできます。

- **整列**： 上、中央、下の整列と合わせて、コンテンツをラベルの左、中央、右へ整列させます。テキストの水平および/または垂直のスペースを増大または減少させます。


- **スワップ**： 区切られたテキスト文字列または段落の順序を、選択したラベル内または新しいラベルのいずれかで逆転させます。いくつかのスワップオプションが利用可能です：

- **水平方向スワップ**： 選択したラベル内の段落のテキスト文字列の順序を逆転させます。テキスト文字列は | などの区切り文字で区切る必要があります。たとえば、ABCD | 1234 | EFGH | 5678 は、5678 | EFGH | 1234 | ABCD になります。段落に区切り文字が含まれていない場合は、何も起こりません。

- **新しいラベルで水平方向スワップ**： 選択したラベルの後に新しいラベルを挿入し、選択したラベルの内容をコピーして反転します。テキスト文字列は | などの区切り文字で区切る必要があります。たとえば、ABCD | 1234 | EFGH | 5678 は、新しいラベルに 5678 | EFGH | 1234 | ABCD と反転してコピーされます。段落に区切り文字が含まれていない場合は、何も起こりません。




- ⓘ **注記**： 選択したラベルがグループの一部である場合、新しいラベルはグループの一部にはなりません。選択したラベルに連番の要素が含まれている場合、新しいラベルによって連番が分割され、含まれる連番要素のコピーが含まれます。

 **垂直方向スワップ**：選択したラベルまたはテキストボックス内の行ベースまたはテキストボックススペースの段落の順序を逆にします。段落は改行記号で区切る必要があります。例えば、

ABCD	5678
1234	EFGH
EFGH	1234
5678	ABCD


は、


段落に区切り文字が含まれていない場合は、何も起こりません。


 **新しいラベルに縦のスワップ**：選択したラベルの後に新しいラベルを挿入し、選択したラベルまたはテキストボックスの内容をコピーして逆にします。パラグラフは改行記号で区切る必要があります。例えば、

ABCD 1234 EFGH 5678	5678 EFGH 1234 ABCD			

段落に区切り文字が含まれていない場合は、何も起こりません。

 **注記**：選択したラベルがグループの一部である場合、新しいラベルはグループの一部にはなりません。選択したラベルに連番の要素が含まれている場合、新しいラベルによって連番が分割され、含まれる連番要素のコピーが含まれます。

 **テキストの方向**：標準の水平テキスト方向から、90、180、270 度の 3 つの可能な回転オプションで回転させます。また、ラベルを右クリックし、**テキストの方向**をポイントし、希望する回転オプションのいずれかを選択することでも、テキストの方向のオプションにアクセスできます。

 **整列**：上、中央、下の整列と合わせて、コンテンツをラベルの左、中央、右へ整列させます。テキストの水平および/または垂直のスペースを増大または減少させます。

5.2. フォーマットの操作

リボンのフォーマットタブで、以下の機能にアクセスできます：

ドキュメントのフォーマット

フォーマットの切り替え：用紙選択ウィンドウを開いて、現在のドキュメントに適用する別のフォーマットを選びます。

ドキュメントのプロパティ：ドキュメントのプロパティの修正ウィンドウを開いて、ドキュメントのフォーマットをカスタマイズします。新しいフォーマットを作成すると、同じプロパティウィンドウが表示されます。詳細情報は、1.5. 「フォーマット、プリンタータイプ、ラベルタイプの作成」を参照してください。

テンプレートの適用：ドキュメントに適用する、事前に作成したテンプレートを選びます。

ラベルの余白：ラベルの余白のサイズを指定します。これらは、ラベルの上下左右からの距離になります。

注記：サイズの値は、詳細設定ウィンドウの表示タブで定義された測定単位を使用します。詳細情報は 7. アプリケーションの設定 を参照してください。

ラベルの余白

余白

単位 Millimeters

左 0 右 0

上 0 下 0

余白が、ラベルエリアに追加されます。余白の変更は、このドキュメントのすべてのラベルに適用されます。

保存 キャンセル

フォーマット更新をチェックする 新しい使用可能なラベルのフォーマットを探します。

お気に入り：このセクションで、お気に入りのフォーマットやテンプレートに基づいて速やかに新しいドキュメントを作成したり、さらに多くのフォーマットをお気に入りに追加したりすることができます。

お気に入りのフォーマットやテンプレートに基づいて新しいドキュメントを作成するには：

1. 対応するドロップダウンリストから、お気に入りのフォーマットまたはテンプレートのいずれかを選択します。

2. ドキュメントの追加アイコンをクリックします。



フォーマットをお気に入りリストに追加するには：

1. お気に入りをクリックします。お気に入りフォーマットの選択ウィンドウが表示されます。



2. 左にあるリストから、1 つまたは複数のフォーマット (Shift または Ctrl キーを押し続けて) を選択します。

3. 追加をクリックします。結果として、右のリストに追加したフォーマットが表示されます。

お気に入りリストからフォーマットを削除するには：

1. お気に入りをクリックします。お気に入りフォーマットの選択ウィンドウが表示されます。

2. 右にあるリストから、1 つまたは複数のフォーマット (Shift または Ctrl キーを押し続けて) を選択します。

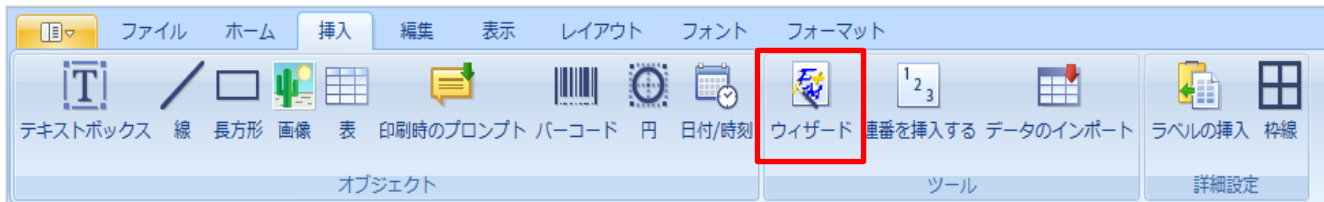
3. 削除をクリックして選択したフォーマットだけを削除するか、すべてを削除をクリックしてお気に入りリスト全体を消去します。

6. ウィザードの操作

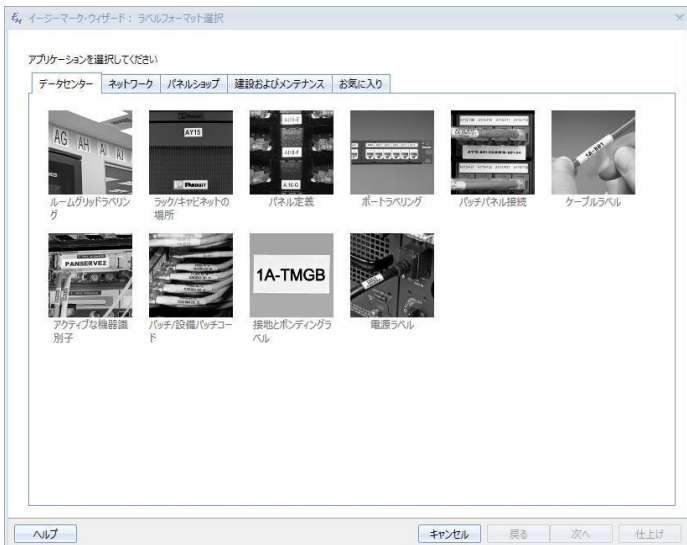
6.1. ウィザードの概要

Easy-Mark Plus™ は、特定のラベリングのタスクに適しているラベルフォーマットを選択し、このフォーマットのラベルコンテンツを生成するのに役立つ、ウィザードのセットを提供します。

ウィザードは、ホームタブまたはリボンの挿入タブのいずれかのツールセクションからアクセスできます。



ウィザードウィンドウには、5つのタブがあります：「データセンター」、「ネットワーク」、「パネルショップ」、「建築およびメンテナンス」タブは、これらのラベルが使用される場所に応じてラベルフォーマットをグループ化しています。お気に入りタブは、お気に入りリストに追加したフォーマットを表示します。フォーマットをお気に入りリストに追加するには、必要なラベルフォーマットの名前を持つ画像を右クリックしてから、お気に入りに追加をクリックします。



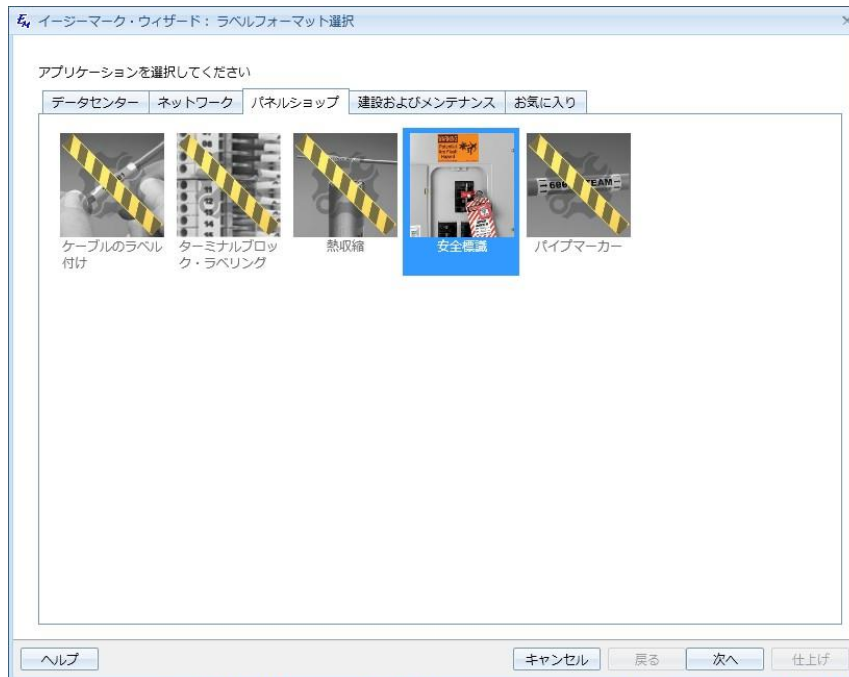
注記：現時点では、安全標識ウィザードのみが使用可能です。他のすべてのウィザードは、今後のソフトウェアアップデートで利用可能になります。

6.2. 安全標識ウィザード

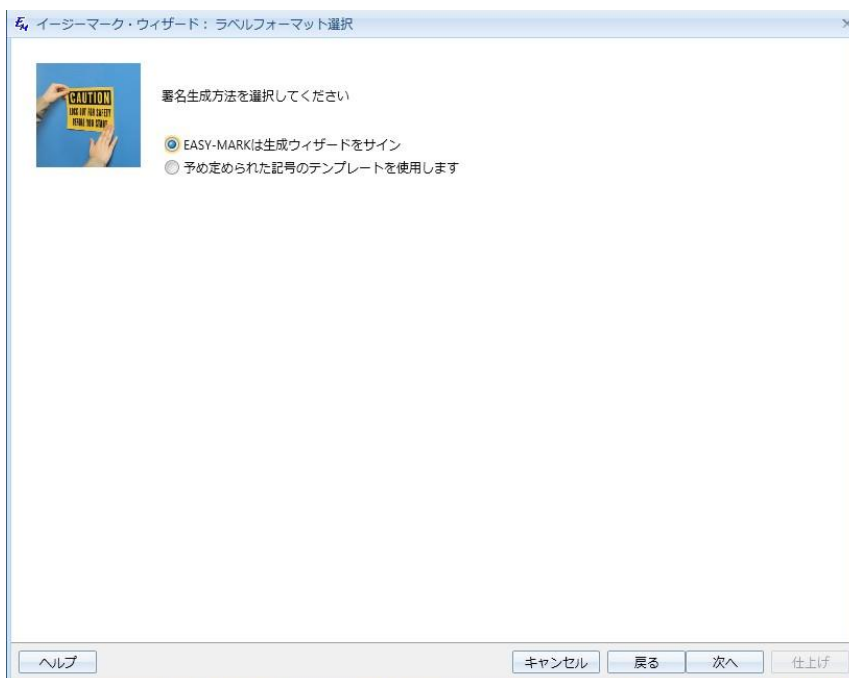
標識生成ウィザード

Easy-Mark Plus™ 標識生成ウィザードを使用して、安全標識ラベルを作成するには：

1. ウィザードウィンドウのパネルショップタブまたは建設およびメンテナンスタブのいずれかで、安全標識をクリックしてから、次へをクリックします。



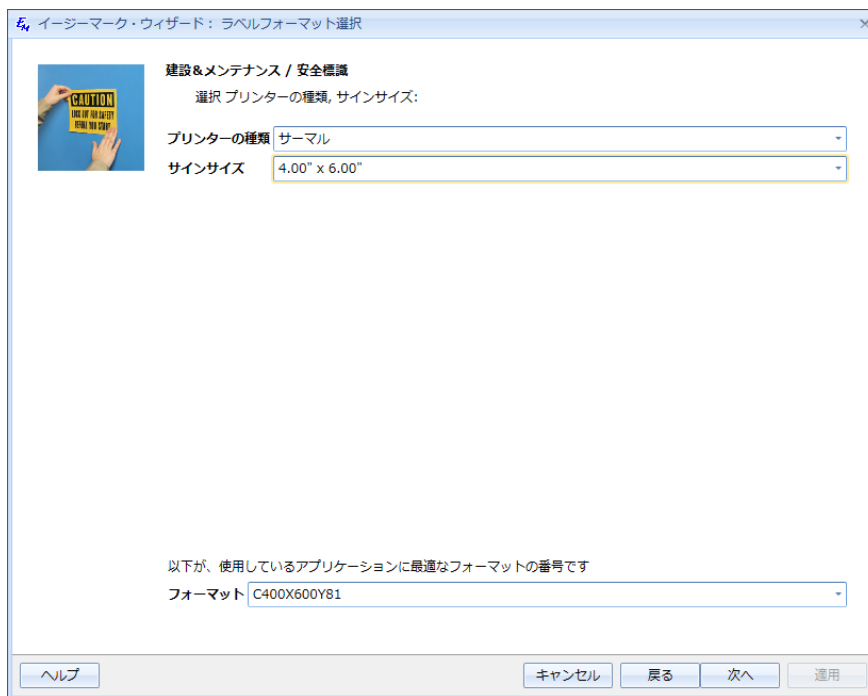
2. EASY-MARKは生成ウィザードをサイン (上)を選択してから、次へをクリックします。



3. ドロップダウンの矢印をクリックして、プリンタータイプを選択します。

4. ドロップダウンの矢印をクリックして、安全標識のサイズの値を選択します。

5. 一致するフォーマットが、以前に選択したパラメータに基づいて、自動的にウィンドウの下部のフォーマットリストに表示されます。希望するフォーマットを選択します。



6 次へをクリックします。

7 次の画面に、下記の3列を含む表が表示されます：

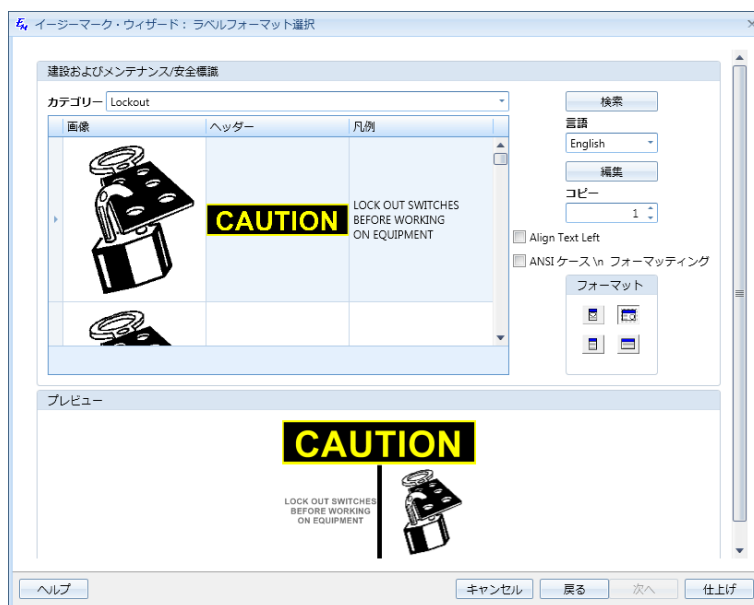
- 画像：安全標識ラベルの写真。
- ヘッダー：注意または危険などの安全標識の警告。
- 凡例：安全標識ラベルの説明。

さらにオプションを使用できます：

- カテゴリー：安全標識のカテゴリーを選択して、下の表に対応する安全標識ラベルを表示します。
- 検索：選択したカテゴリーの凡例で特定の語を探します。
- 言語：安全標識凡例の言語を選択します。
- 編集：凡例、ヘッダー、安全標識ラベルの画像ファイルを変更できるダイアログを起動します。こうしたカスタマイズ済のラベルは、**カスタムカテゴリー**に保存されます。
- コピー：生成されるラベルの数を入力します。

- **テキスト左揃え**：チェックボックスを選択して、凡例をラベルの左に整列させます。チェックボックスが選択されていない場合は、凡例は中央になります。
- **ANSI ケースフォーマット**：このチェックボックスを選択すると、記号の凡例の最初の文字が自動的に大文字に変わりますが、後の文字は小文字のままです。チェックボックスが選択されていない場合は、凡例はデフォルトで保存されている凡例になります。
- **フォーマット**：安全標識ラベルで使用できる 4 つのフォーマットのいずれかを選択します。

 **注記**：すべての変更は、ウィザードウィンドウの下部にあるプレビューに反映されます。

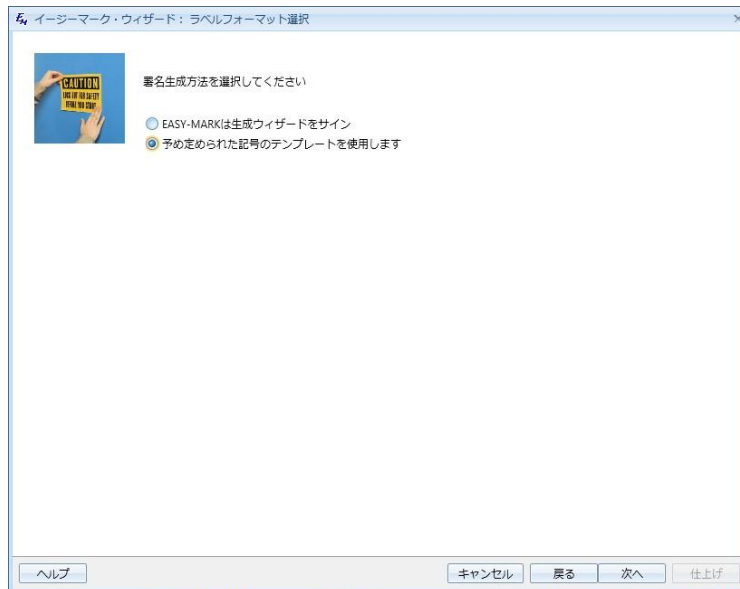


8. **仕上げ**をクリックします。

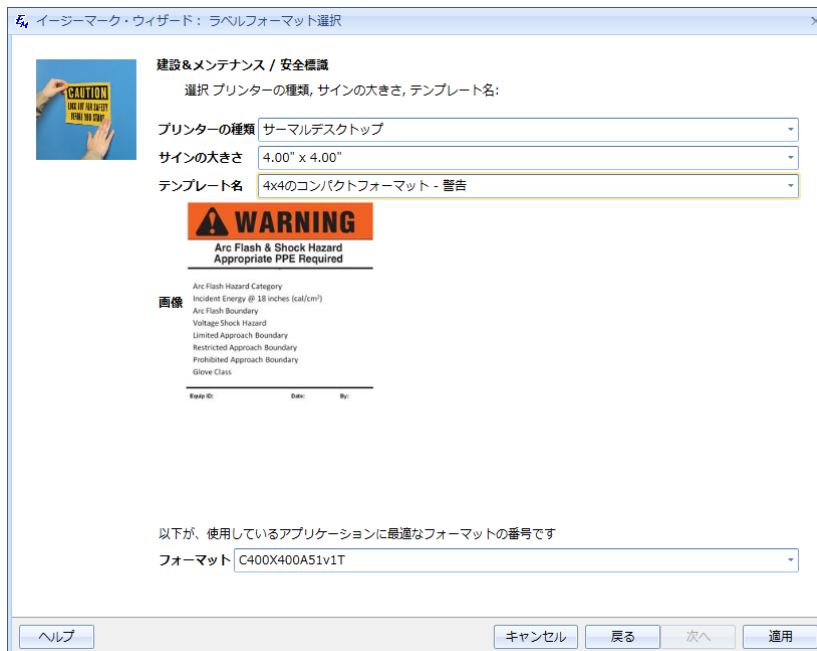
記号テンプレート

Easy-Mark Plus™ 記号テンプレートを使用して、安全標識ラベルを作成するには：

1. ウィザードウィンドウのパネルショップタブまたは**建設およびメンテナンスタブ**のいずれかで、**安全標識**をクリックしてから、**次へ**をクリックします。
2. **予め定められた記号のテンプレートを使用します**を選択してから、**次へ**をクリックします。



3. ドロップダウンの矢印をクリックして、プリンタータイプを選択します。
4. ドロップダウンの矢印をクリックして、安全標識のサイズの値を選択します。
5. ドロップダウンの矢印をクリックして、テンプレート名を選択します。テンプレート名を選択すると、安全標識の画像がテンプレート名リストの下でプレビューされます。
6. 一致するフォーマットが、以前に選択したパラメータに基づいて、自動的にウィンドウの下部のフォーマットリストに表示されます。

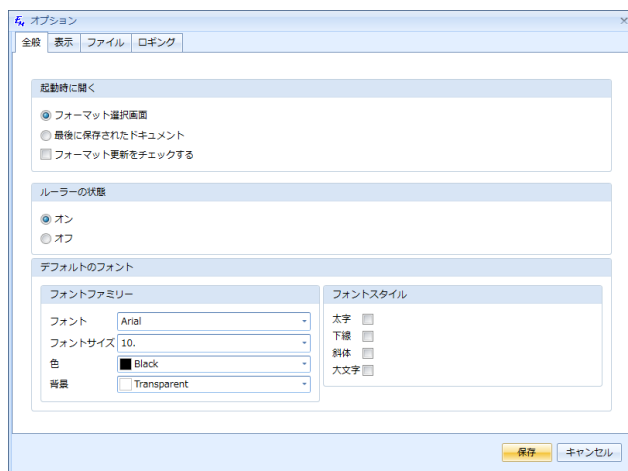


7. 完了をクリックします。

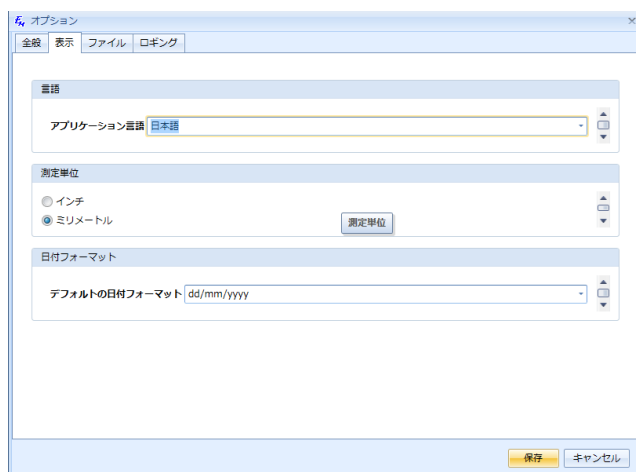
7. アプリケーションの設定

Easy-Mark Plus™ ラベル印字ソフトは、用紙情報選択ページ、あるいはリボンのファイルタブのユーザーセクションからアクセスできるオプションウィンドウで設定できます。オプションウィンドウには、4 つのタブがあります：全般、表示、ファイル、ロギングです。

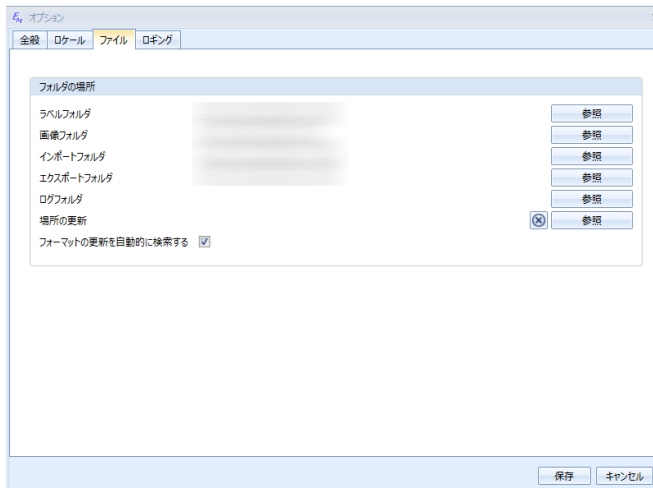
- **全般タブ**で、アプリケーション起動時に何を開くかを定義できます：フォーマット選択画面または最後に保存したドキュメントです。それ以外に、**全般タブ**で、**フォーマット更新の表示**チェックボックスを選択して、Easy-Mark Plus™ が使用可能な新しいフォーマットを検索するかどうかを決めます。最後に、ここで、ドキュメント表示でルーラーを表示するかどうかを決め、ラベルに対して希望するフォントを選択できます。



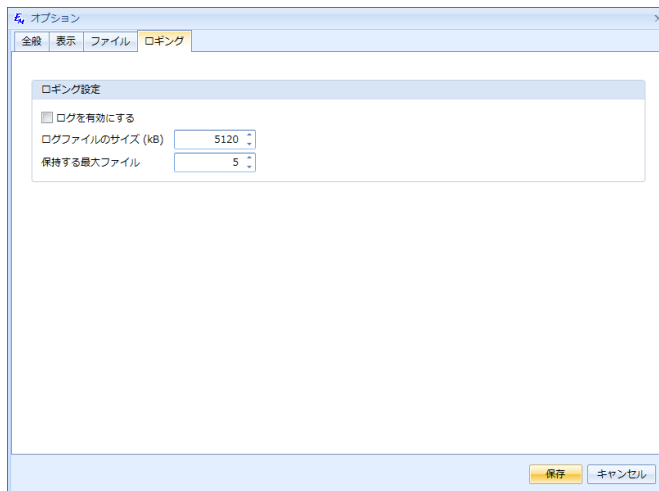
- **表示タブ**では、Easy-Mark Plus™ のインターフェース言語の選択、希望する測定単位 (インチまたはミリメートル) の選択、デフォルトの日付フォーマットの決定ができます。



- **ファイルタブ**では、デフォルトで画像やラベルが保存されるコンピュータ上のフォルダを選択できます。また、ここでファイルのインポートおよびエクスポート、ログファイル、フォーマット更新のフォルダを選ぶこともできます。さらに、**ファイルタブ**で、**フォーマットの更新を自動的に検索する**チェックボックスを選択して、Easy-Mark Plus™ が、自動的に使用可能なフォーマットをチェックするかどうかを決めることができます。最後に、Easy-Mark Plus™ の管理者は、**ファイルタブ**の**エクスポート (Export)**ボタンをクリックして、システムデータベースをエクスポートすることができます。



- **ロギングタブ**で、**ログを有効にする**チェックボックスを選択して、Easy-Mark Plus™ のロギング機能を有効にします。ログファイルの最大サイズをキロバイト単位で定義し、ログに保存されるファイルの最大数を定義します。



トラブルシューティング

当社のテクニカルサポートへお問い合わせください：

パンドウイトコーポレーション日本支社

お問い合わせ窓口

TEL: 03-6863-6060

Email: jpn-toiawase@panduit.com